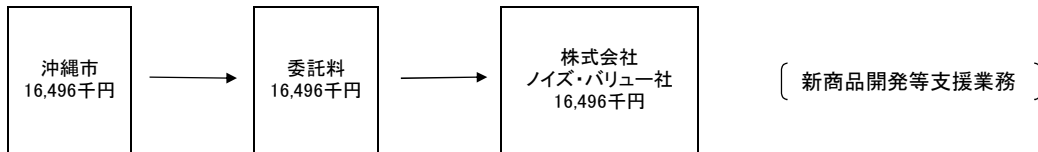


市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	新商品開発等支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-イ		
担当部課名	経済文化部 商工振興課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上 Ⅲ-1-(7)		
事業内容	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、テストマーケティングやバイヤーを招へいた商談会等、新商品開発を行う事業者を総合的に支援する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	16,500				
		(b)予算現額	16,500				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	16,500					
	B.執行済額	16,496					
	うち交付金充当額	13,197					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	執行残額は概算契約の精算によるものであり、当初計画していた事業内容としては適切に実施している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	参加事業者数(30事業者)	目標	(30事業者)	()	()	()	
		実績	38事業者				
	ワークショップ開催数(5回)	目標	(5回)	()	()	()	
		実績	6回				
	ハンズオン支援事業者数(10事業者)	目標	(10事業者)	()	()	()	
		実績	10事業者				
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・食品、非食品の事業者がほぼ半数ずつ集まり、全38事業者がワークショップ等による研修に参加した。 ・ワークショップを5回開催後、希望する事業者を対象に商品開発のアイデア創出のための意見交換会を追加で1回開催した。 ・ワークショップへ参加後、具体的な商品開発に取り組む10事業者へ専門家を派遣し、商品開発や流通販路開拓等のハンズオン支援を行った。 					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度
新商品開発数(10商品)		目標	()	(10)	()	()	()
		実績		28			
【参考指標】 新商品販売額		目標	()	()	()	()	(300万円)
		実績					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣によるハンズオン支援で事業者の個々の課題に向き合った商品開発や販路開拓支援を行ったことで、目標としていた10商品を大きく上回る商品化を果たした。 ・一部事業者の商品については発売に至ったものの、全商品の本格的な販売については、令和5年度以後に展開する予定となっている。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ開催による全体支援と専門家派遣による個別支援を組み合わせることにより、新商品開発の目標数を上回ったと考える。 本市には、伝統・音楽・スポーツなど魅力的な地域資源が豊富にあるが、それらを活かした商品開発等の展開が十分に行われていない状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発を活性化させるためには、本市の魅力的な地域資源を十分に活かすことが重要であることから、引き続きワークショップ開催による全体支援と専門家派遣による個別支援に取り組む必要がある。 また、本事業でこれまでに開発された商品のPRに取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>・次年度(令和5年度)は、商品開発・販売等に関する知識の習得に向けたワークショップの開催や専門家による開発支援、販路開拓支援に引き続き取り組む。さらに、これまでに本事業で開発された商品について、本市で開催される大型イベント等と連携を図り、PRに取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,496	16,496	13,197	3,299	0



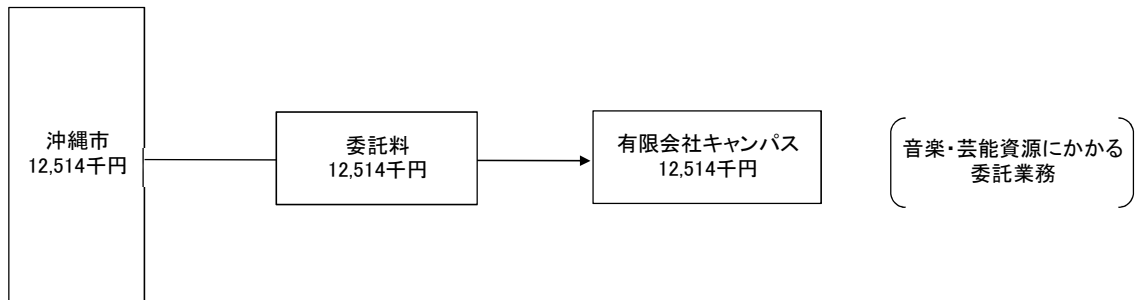
資金の 用途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できないため、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、比較見積りや設計金額を踏まえ適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要性について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適切であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		音楽資源活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
担当部課名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	14,173	14,431	13,235	13,217	13,218
	(b)予算現額	14,173	14,431	13,235	13,217	13,218	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	14,173	14,431	13,235	13,217	13,218	
	B.執行済額	13,984	14,263	12,659	12,031	12,514	
	うち交付金充当額	11,187	11,410	10,127	9,624	10,011	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.7%	98.8%	95.6%	91.0%	94.7%	
予算の状況の説明		概ね当初計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	音楽資料の常設展示	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	企画展の開催(3回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	7回	5回	4回	3回	
音楽イベント等の開催(1回)	目標	(2回)	(1回)	(1回)	(1回)		
	実績	2回	1回	1回	1回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄民謡を中心に、本市ゆかりのミュージシャンの写真、音源(レコード・カセット・CD等)、映像、グッズ(書籍、パンフレット、チケット、情報誌等)の常設展示を行った。 ・これまで収集した音楽・芸能資源を活用し、企画展を3回開催した。 ・音楽イベントの開催では入場制限を設けて、音楽イベントを行った。動画配信にも取り組み県内外へおながく村の施設PR等を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光客来館者数:790人	目標	()	(3,800人)	(4,000人)	(790人)	()
		実績		632人	1,750人	5,129人	
	動画配信視聴数:3,140回	目標	()	()	()	(3,140回)	()
実績					4,733回		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客来館者数 新型コロナウイルスの影響を考慮し、過去の実績を勘案して目標を設定したが、個人・団体観光客が戻ってきており、大幅に増となった。 ・動画配信視聴数 令和4年度より、成果目標に動画配信視聴数を追加した。イベント時に動画配信を行い、目標を達成することができた。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 観光客来館者数 観光客来館者数については、新型コロナウイルスにより減少していた、個人・団体観光客が少しずつ戻ってきている。 動画配信視聴数 イベント時に動画配信を行ったことで、県内外にこの活動が発信され、おんがく村を知らない方に対しても知っていただく機会となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客来館者数 引き続き、感染症対策を行いながら、個人・団体観光客が戻るよう広報を行う。 動画配信視聴数 イベント時には動画視聴数を伸ばせるよう視聴回数の把握に努め、県内外への広報活動を続けていく。
今後の取り組み方針		
<p>・展示物の消毒など、感染予防対策を行い、安心して来場できる環境を整えるとともに、ホームページやSNSを活用し、おんがく村の施設PRを行っていく。イベントについても、感染予防対策を講じ、動画配信を行うことで県内外への広報活動を続けていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
12,514	12,514	10,011	2,503	0



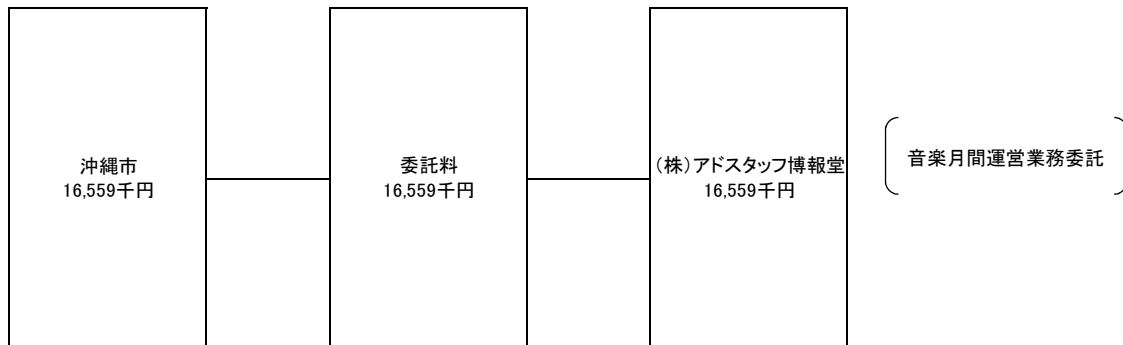
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	音楽観光誘客事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3(2)-ウ		
担当部課名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、幅広いジャンルの音楽イベント等を開催する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	23,679	24,119	22,435	16,563	16,559
		(b)予算現額	23,679	24,870	19,800	16,563	16,559
		(c)増減額(b-a)	0	751	▲2,635	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	23,679	24,870	19,800	16,563	16,559	
	B.執行済額	23,167	24,870	19,799	16,424	16,559	
	うち交付金充当額	18,533	19,896	15,839	13,139	13,247	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.8%	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	
予算の状況の説明	事業全体として、計画通り執行している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	音楽情報の発信(10月～12月)	目標	(5月～2月実施)	(10月～12月実施)	(10月～12月実施)	(10月～12月実施)	
		実績	5月～2月実施	10月～12月実施	10月～12月実施	10月～12月実施	
	音楽イベント等の開催(3回)	目標	(2回)	(3回)	(2回)	(2回)	
		実績	2回	3回	3回	3回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催される音楽イベント等の情報を、ホームページ及びSNSを活用し発信した。 10月～12月の各月で音楽イベント開催した。10月1日に音楽月間期間の開始を印象付けられるようスタートLIVEを実施。10～11月の週末には、まちなかを活用した音楽LIVEを9回実施した。また、12月には市内著名アーティストが出演する音楽ライブを実施した。(まちなかを活用した音楽LIVEは9回実施しているが、同イベントとなるため実績は1回としている) 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:54,050人	目標	()	(53,000人)	(53,000人)	(54,050人)	()
		実績		1,899人	12,825人	40,866人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 「おきなわ音楽月間」では、HP及びSNSを活用し、市内の音楽関連の公共施設をはじめ、民間のライブハウス等で実施される音楽イベント等、音楽関連の情報を総合的に発信しており、情報発信をした主要イベントの集客数を成果目標としている。 令和4年度は目標値に達せなかったが、新型コロナウイルス感染症に関する状況が少しずつ落ち着きを取り戻してきたこともあり、集客数は前年度より増加した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響が続き、コロナ禍以前の集客環境となっていなかったことから、本事業で実施する音楽イベントを含め、市内の音楽開催情報について、ホームページ及びSNS(Facebook・Instagram)、ラジオ放送を活用し、情報発信の強化に努めた。</p>	<p>・情報発信手法の強化(SNSの追加、地方紙への掲載等)をはじめ、継続性のある音楽イベントを行い、事業の認知度の向上を図る必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・音楽情報の発信については、チラシ・パンフレットの配布及びHPやSNS等を活用した情報発信を行い、集客数を増やしていく。</p> <p>・音楽イベントについては、地域の賑わいの創出及び事業の認知度の向上が図れるよう検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,559	16,559	13,247	3,312	0



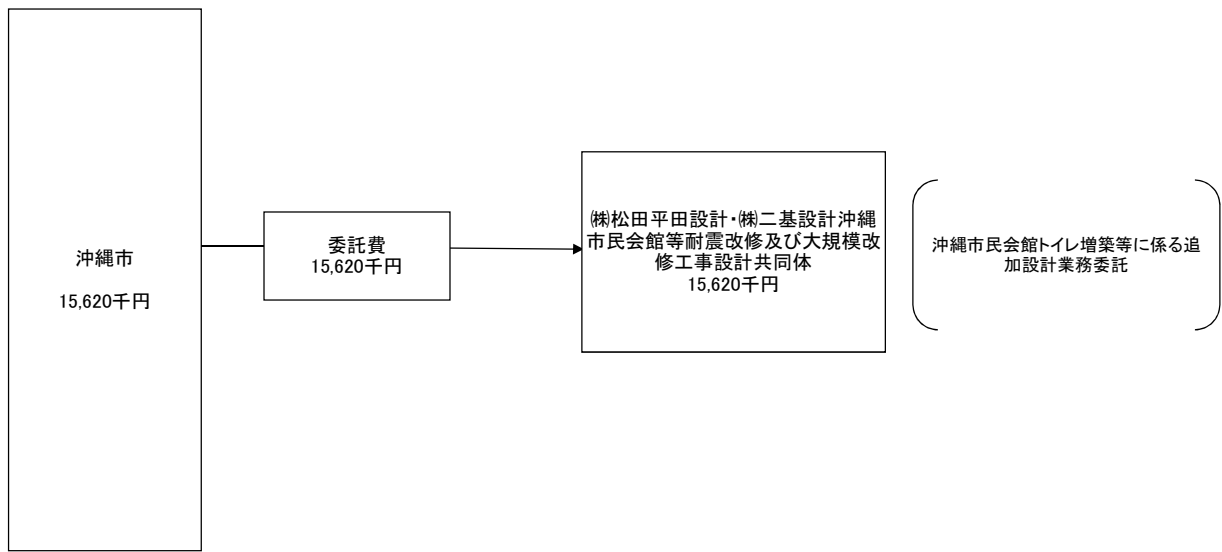
資金の 使途の 流れ 点検 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。</p> <p>○不用額は無く適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④		文化活動拠点施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
担当部課名						Ⅲ-3-(2)	
事業内容	文化の振興及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構や舞台照明等、設備の機能充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	110,530	3,500	166,546	153,330	21,470
	(b)予算現額	83,726	3,500	161,700	153,330	14,200	
	(c)増減額(b-a)	▲26,804	0	▲4,846	0	▲7,270	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	83,726	3,500	161,700	153,330	14,200	
	B.執行済額	83,725	2,255	161,700	148,940	15,620	
	うち交付金充当額	66,979	1,804	126,118	119,152	12,496	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	64.4%	100.0%	97.1%	110.0%	
予算の状況の説明	計画どおりに事業を実施し、適正に予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	沖縄市民会館トイレ増築等に係る追加設計業務委託		目標 ()	()	()	(実施)	
			実績			実施	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	令和4年度に沖縄市民会館のトイレ増築等に係る追加設計業務を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R7年度)
	沖縄市民会館等耐震改修及び大規模改修工事トイレ増築に係る追加設計業務委託の完了		目標 ()	()	()	(完了)	()
			実績			完了	
	【R1年度設定】 ①あしびな一年間入場者数 ②あしびな一年間舞台利用者数		目標 ()	()	(①35,000人 ②5,500人)	()	()
			実績		(①19,462人 ②3,370人)		
	【R3年度設定】 沖縄市民会館大ホール年間利用者数		目標 ()	(-)	(-)	(43,000人)	()
			実績	-	-	65,787人	
	【参考指標】 ①沖縄市民会館大ホール年間利用者数 ②沖縄市民会館中ホール年間利用者数		目標 ()	()	()	()	(①112,530人 ②26,020人)
			実績				
	進捗状況説明	沖縄市民会館のトイレ増築等に係る追加設計業務を完了し、目標を達成した。あしびな一年間の年間入場者数および年間舞台利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和元年度に設定した目標を達成できなかった。沖縄市民会館大ホール年間利用者数について、新型コロナウイルス感染症による影響を加味した目標値設定を行ったことや、感染症が緩和傾向にあったことから、目標を達成できた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・沖縄市民会館は昭和55年に供用を開始している施設となっていることから、現在の基準に適合するようなバリアフリー化がなされていないことが課題となっている。	・令和4年度においては、バリアフリートイレの新築に向けた基本設計を完了した。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・現行法との整合等を図りながら、工事の早期着工に向けて調整を進めていく。 ・沖縄市民会館の機能向上を図り、利用者の拡大に努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,620	15,620	12,496	3,124	0



資金使途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は指名入札方式により選定しており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○照明設備機器等の現状を把握したうえで事業を実施しており、適正な予算規模であると考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認しており、適正であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

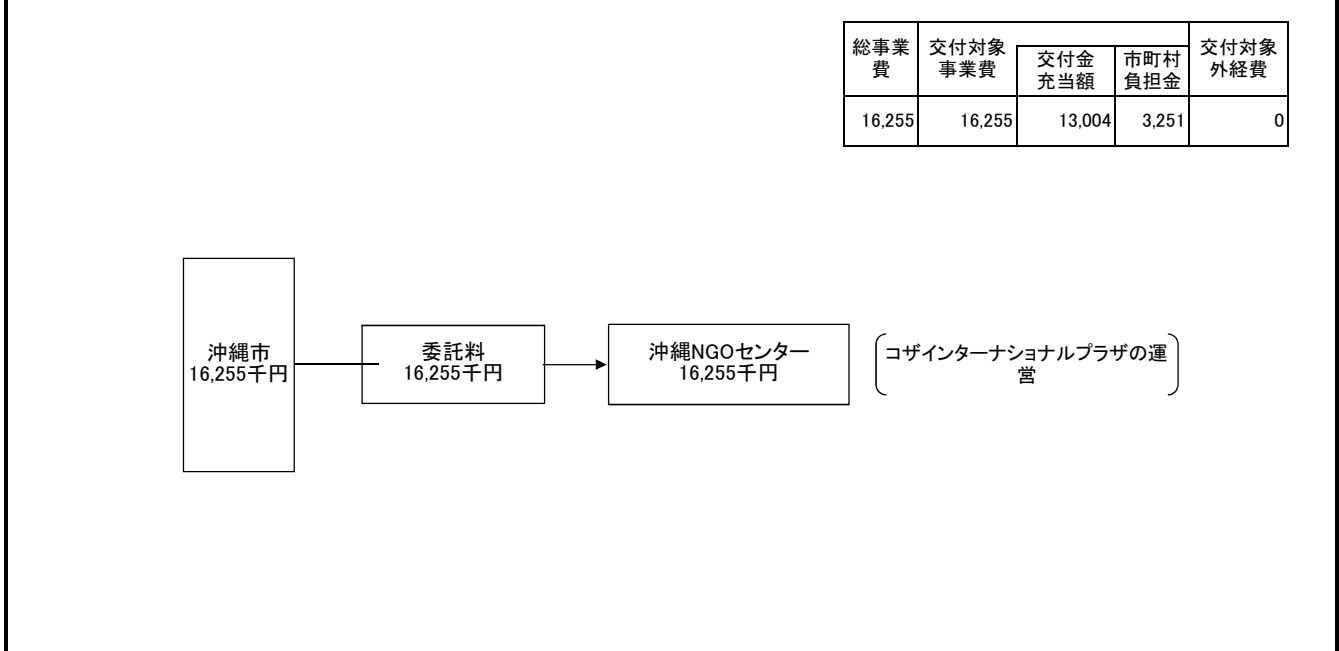
市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	国際交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ウ		
担当部課名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多角的な交流の推進		
事業内容	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を旨とし、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		16,968	17,545	17,794	17,020	17,020	
	16,968	17,545	19,324	17,020	17,020		
	0	0	1,530	0	0		
	0	0	0	0	0		
	16,968	17,545	19,324	17,020	17,020		
	B. 執行済額	16,822	17,157	16,970	15,544	16,255	
	うち交付金充当額	13,457	13,725	13,576	12,435	13,004	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	97.8%	87.8%	91.3%	95.5%	
予算の状況の説明	予定していた取組は概ね実施し、適正に予算を執行した。年間運営を行う業務であり、11ヶ月分を沖縄振興特別推進交付金の活用とし、1ヶ月分(3月)は市の単費を充て実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①多言語相談 ②多言語語学講座(英語・スペイン語等) ③多国籍住民等との交流会		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
達成状況説明	①多言語相談については、祝日を除く毎週月・火・木・金・土曜日の週5日に対応しており、相談内容によって、適切な専門家への繋ぎや前例を元にしたアドバイス等を行った。 ②多言語語学講座については、英語・スペイン語・中国語・韓国語・日本語・ベトナム語講座を開講。(英語とスペイン語を必須とし、韓国語とベトナム語を除き各言語年間30回以上実施) ③多国籍住民との交流については、世界のウチナーンチュの日関連イベント、各国を題材にした料理教室や音楽イベント等、国際色豊かな体験型のイベントを実施。また、ゆんたく交流会においては、国籍を問わず文化交流や語学向上を目的とし、英語・スペイン語・中国語を月1回、日本語・親子英語・外国人ママ&パパの子育ては不定期で開催し、毎月違うトピックとそれに関連した質疑応答の例文を参照しながら会話をを行い、その後はフリートークをするなど、外国人住民と地元住民の出会い・交流・情報交換の場となっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	来所者数5,600人		目標 ()	(8,500人)	(7,000人)	(5,600人)	()
			実績	2,726人	5,145人	4,079人	
	【参考指標】生活上の困難の改善が図れたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
進捗状況説明	・令和4年度は、施設移転の影響や開館日数と営業時間の変更を行ったことから、当初は来所者数が少なく目標値には届かなかった。 ・多言語相談については、全言語に共通して教育に関する問い合わせや市役所では対応が難しい外部同行通訳依頼が多く、その他に生活環境・住居関係・金銭的な相談なども見受けられた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・施設移転等の影響により、移転直後は施設の認知が充分に行き届いていなかったことや、コロナ渦における来所者数の伸び悩みがあり、成果目標を達成することが出来なかった。 ・沖縄市で生活していく上での教育や住居・金銭的な生活相談に手続きするにあたっての通訳依頼などが多く見受けられたが、その他に法律相談や医療通訳の相談もあり、つなぎ先が限られているため利用者の解決につながっているのか見えない部分もあった。 ・2023年に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023や今後開催されるであろう国際イベントを見据え、社会全体において、国際化及び国際交流の機運が高まってくると予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して施設の認知度を上げるため様々なイベントや講座を沖縄市内で企画運営した。またHPの新規開設などSNSを活用した情報発信を続けた結果、来所者の数も令和4年度当初と比べ増加傾向にある。 ・市内に在住する外国人の国籍や来沖理由も多様化し、社会変化が著しい中でも安心して暮らせる地域づくりの一端を担える施設としてあり続け、住民のニーズや相談をリアルタイムで知ることが出来る仕組みを作っていくことが重要と考える。 ・講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく必要がある。

今後の取り組み方針

・今後も来所者数の増加を図るため、可能な限り対面形式でのイベントを実施し、コザインターナショナルプラザのHPやFacebookなどのSNSに加え、市のSNSも活用した情報発信を続けていき、引き続きコザインターナショナルプラザの周知を行う。
 ・利用者の相談に合わせた解決策を探っていくようつなぎ先となる専門機関を増やしていき、利用者へ素早く確実な窓口を案内するためにも外部機関との日々のつながりや情報交換を通じたネットワークを広げていく。
 ・講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模は適正であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	エイサーのまち推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	68,192	43,374	41,092	33,120	31,939
	(b) 予算現額	86,183	43,374	2,178	6,980	7,182	
	(c) 増減額(b-a)	17,991	0	▲ 38,914	▲ 26,140	▲ 24,757	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	86,183	43,374	2,178	6,980	7,182	
	B. 執行済額	83,611	41,248	2,067	5,184	7,179	
	うち交付金充当額	66,889	32,998	1,653	4,147	5,742	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	97.0%	95.1%	94.9%	74.3%	100.0%	
予算の状況の説明	当初、沖縄全島エイサーまつりの開催を予定していたが、新型コロナ感染拡大の影響により中止となったため、沖縄全島エイサーまつりシャトルバス運行等業務、沖縄全島エイサーまつり臨時駐車場及び空間演出警備等業務の予算については全額減額した。沖縄全島エイサーまつり空間演出向上業務の予算については、まつり中止前に既に契約しており、制作費等の準備行為に要した費用を除いた額を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	エイサーのまちPR事業 ・エイサーグッズ製作・配布 ・エイサーのまちPRパナー等設置		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
達成状況説明	エイサーのまち沖縄市をPRするために、エイサー会館との連携によるインターネットを活用した動画配信や広報活動を行った。また、各種グッズ製作および、エイサー旗の掲揚を約2カ月行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(25年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	エイサーイベント来場者数		目標 (320,000人)				()
			実績				
	エイサー会館来場者数:20,600人		目標 ()	(27,874人)	(26,788人)	(20,600人)	()
			実績	9,556人	9,200人	22,234人	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・エイサーイベント来場者数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、沖縄全島エイサーまつりを始めとしたエイサーイベントが中止となったことから、令和3年度と同様に成果目標の設定をしていない。 ・エイサー会館来場者数については、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、感染症の影響緩和傾向により、エイサー会館来場者数は目標値を上回った。 ・SNSや動画配信を活用した周知活動を行いつつ、感染対策については、館内設備の定期的な除菌作業を行うとともに、イベント時含め、来館者には検温・手指消毒やマスクの着用等の協力を求めている。 						

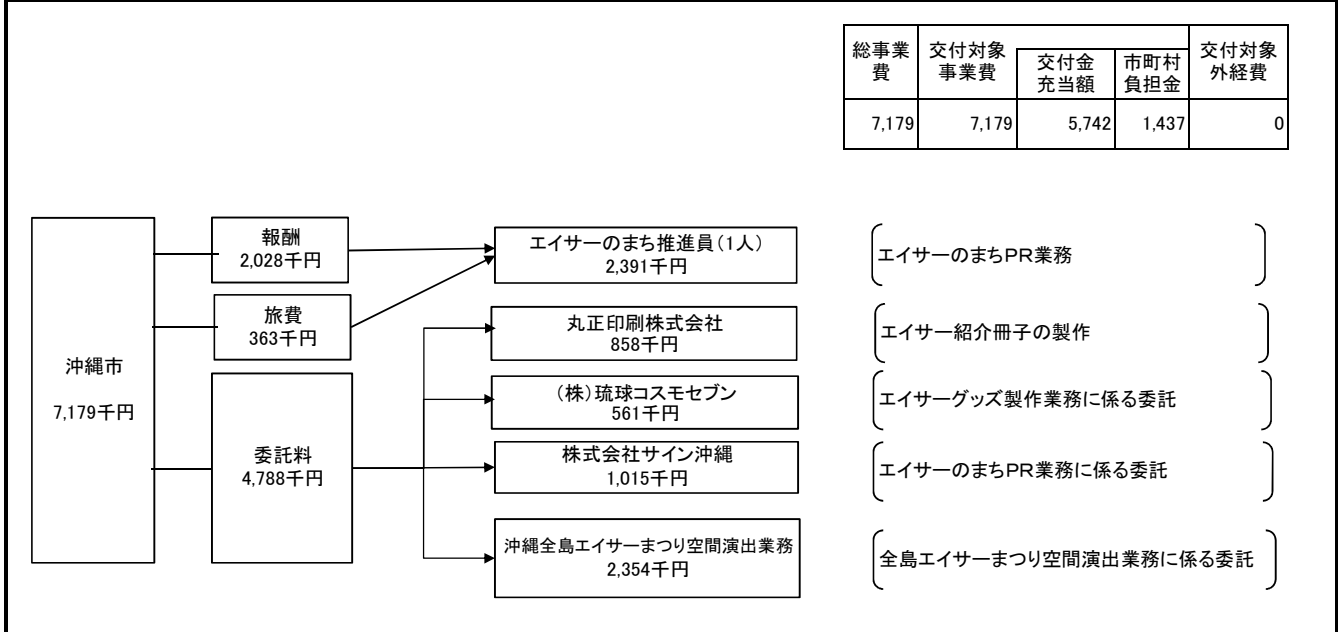
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、エイサーイベントが中止となった。また、新型コロナによるイベントの中止やエイサー等の活動自粛により、市内青年会が衰退の傾向にあり、まつり出演者数にも影響が出ている。 <p>(エイサー会館来場者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響を受けつつも、感染症の影響は緩和傾向にあり、エイサー会館来場者数は令和3年度と比べて増えてきている。 	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響が緩和傾向に向かっているが、沖縄全島エイサーまつり等のエイサーイベント開催に向け、感染症拡大について注視しつつ、その時々に応じた感染症拡大防止策を講じていく必要がある。 まつり出演者である青年会のエイサー活動の場の提供が必要である。 <p>(エイサー会館来場者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客の回復に向け、観光関連事業者連携や修学旅行等の団体旅行者へのPRが必要である。

今後の取り組み方針

(エイサーイベント来場者数、エイサー会館来場者数)

- エイサーイベントについては、感染症対策を講じた上での開催手法を検討したうえで、沖縄全島エイサーまつりの空間演出による魅力向上及びシャトルバス運行による来場者の利便性向上に引き続き取り組むとともに、エイサーグッズの製作やエイサーバー掲揚等により来場意欲を高める。
- エイサー会館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客の回復に向け、沖縄市観光物産振興協会等と連携し、観光関連事業者や修学旅行等の団体旅行者へのPR活動を行う。
- エイサーの担い手である青年会について、エイサー会館と連携しエイサー披露の場を提供することで、文化の保存継承及び活性化につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

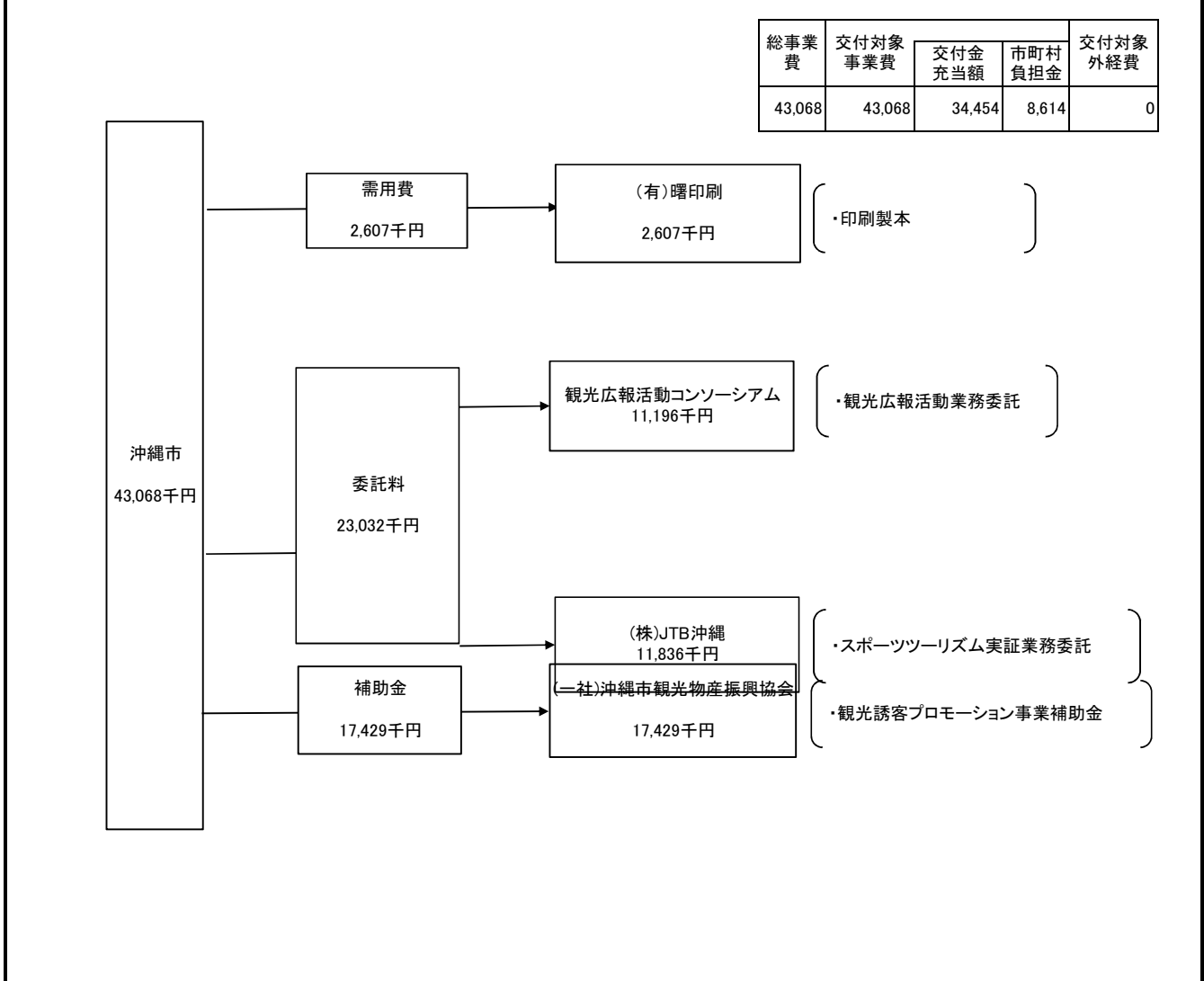


資金使途の流れ・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、入札方式等で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	観光宣伝事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	観光PR活動の実施により、滞在型観光の推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		76,318	48,803	79,180	66,217	44,755
			76,318	48,803	79,180	55,217	44,755
			0	0	0	▲ 11,000	0
			76,318	48,803	79,180	55,217	44,755
	B. 執行済額 うち交付金充当額		73,303	48,552	68,754	49,747	43,068
			58,642	38,841	55,003	39,797	34,454
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.0%	99.5%	86.8%	90.1%	96.2%
	予算の状況の説明	観光誘客プロモーション事業については、当初予算額のうち、11か月分を沖縄振興特別推進交付金の活用により事業を実施しており、1か月分は市単独予算により事業を実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①各種メディアやWEBを活用した観光広報活動業務 ②ガイド養成講座の実施(16回) ③モニターツアー(25回)の実施	目標	①実施 ②16回 ③11回	①実施 ②16回 ③25回	①実施 ②16回 ③25回	①実施 ②16回 ③25回	
		実績	①実施 ②16回 ③31回	①実施 ②16回 ③27回	①実施 ②16回 ③36回	①実施 ②16回 ③61回	
	④観光情報誌「沖縄市GO」の印刷 ⑤スポーツツーリズム関連業務	目標				④実施 ⑤実施	
		実績				④実施 ⑤実施	
達成状況説明	・ラジオやSNSを通して市のイベントや観光情報を発信した。 ・ガイド養成講座は前期8回10名が参加、後期8回9名が参加し目標を達成した。 ・モニターツアーは全61回計103名が参加し、目標を上回った。 ・観光情報誌「沖縄市GO」を印刷するとともに、本庁舎及び観光関連施設等に配付し観光情報を発信した。 ・スポーツツーリズムをさらに推進し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るとともに、地域全体で推進するために「スポーツツーリズムマーケティング戦略」を策定した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	主要ホテル宿泊延べ人数	目標	()	(354,585人)	(177,292人)	(162,888人)	()
		実績			110,730人	97,489人	182,667人
	【参考指標】 主要施設入場者数	目標	()	()	()	()	()
実績				2,099,989人	2,489,278人	3,365,700人	
進捗状況説明	観光情報誌「沖縄市GO」の県外催事や県内の宿泊施設等において配布するとともに、ナイトメイヤーを活用し、withコロナ/afterコロナにおけるイベントを開催し、宿泊者数が182,667人となり市内宿泊延べ人数の目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染対策が緩和されたため、観光客の増加が見込まれるが、感染状況や社会情勢等に留意する必要がある。 市内宿泊の促進に当たっては、一部の宿泊施設のみ有利にならないように公平性を担保したうえで情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染対策の緩和、また、それに伴う観光需要の増加を見据えた、戦略的な観光情報の発信に取り組む必要がある。 県内外のイベントや商談会、修学旅行フェア等において積極的なPR活動をおこない、市内宿泊を促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 観光需要の回復を見据え、県外での積極的なプロモーション活動のほか、インバウンドの受け入れに向けた情報発信の検討をおこなう。 国内外からの観光受入れを見据えた、情報発信のほか、地域と連携した、経済活性化に向けた取り組みの検討をおこなう。 県内外のイベントや商談会、修学旅行フェア等において積極的なPR活動をおこない、市内宿泊を促進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



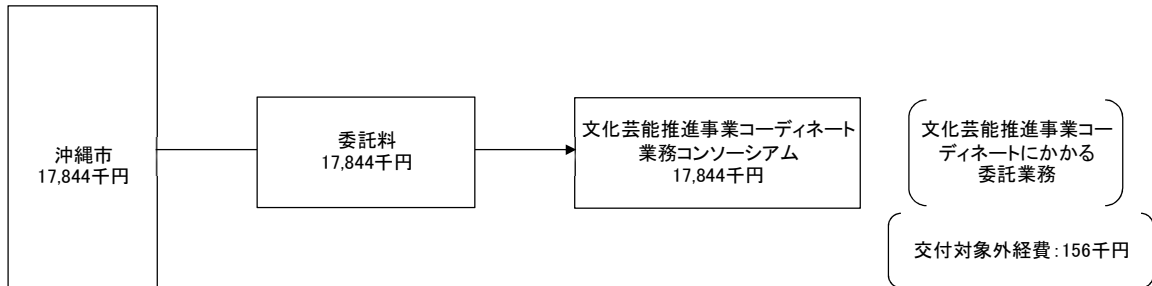
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、公募型プロポーザル方式による事業者を選定した。一部の委託事業と補助事業については観光に関する知識や経験及び関係団体との連携を考慮し判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業の補助事業の経費については補助金と受益者負担により実施されており、受益者との負担関係は妥当であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	文化芸能推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本市独自の魅力ある伝統芸能と観光を連携させ、沖縄市をPRしさらなる誘客を図るため、沖縄市伝統芸能作品の公演を街中で実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a)当初予算額	31,601	27,757	0	16,264	16,264
		(b)予算現額	31,601	27,757	0	16,264	16,264
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-	-	0	0	0
		A.計(b+d)	31,601	27,000	0	16,264	16,264
		B.執行済額	31,374	26,730	0	16,264	17,844
		うち交付金充当額	25,099	21,384	0	13,011	14,275
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.3%	99.0%	#DIV/0!	100.0%	109.7%
予算の状況の説明	概ね計画通りに執行。 新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、拡大防止策を考慮した公演内容に微調整を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	沖縄市文化芸術祭(1回)	目標	()	()	(1回)	(1回)	
		実績			1回	1回	
	国民文化祭オープニングイベント(1回)	目標	()	()	()	(1回)	
		実績				1回	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、沖縄こどもの国で開催。また、本芸術祭のオープニングイベントを、コザ・ミュージックタウン音楽広場にて開催。市の芸能を題材にしたオリジナル舞台公演や、伝統公演、吹奏楽、ダンス、大道芸等を実施し、地域文化芸能の魅力を市内外へ広く発信し地域芸能に触れる機会の創出を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	舞台公演3回 展示公演1回	目標	()	()	(舞台公演3回 展示公演1回)	()	()
		実績			舞台公演7回 展示公演4回		
	イベント参加者数3,000人	目標	()	()	()	(3,000人)	()
		実績				2,939人	
	進捗状況説明	美ら島おきなわ文化祭2022開催の年ということもあり、会場確保や出演団体のスケジュール確保などの課題があったが、感染症対策を行いつつ、概ね計画通りの内容を実施することができた。 また、ラジオ局3局に出演や、オープニングイベントの開催など、イベント告知に力を入れることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会場を沖縄こどもの国としたが、会場の構造上、無料エリアから有料エリアへの誘導等が難しく、チケット売り上げに影響が出たと考える。 ・他イベントの影響で、会場や出演者のスケジュール確保に時間を要したため、舞台制作や公演内容決定が当初の計画から遅れが出てしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の構造・立地だけでなく、誘客・チケット売り上げ数の観点も含め、当芸術祭により適した会場選定・設営をしていく必要がある。 ・他イベントとの被りがない日程や、同日でも連携し誘客に繋げる等の企画・提案をしていく必要がある。会場・出演者の決定に遅れが出ると、広報活動へも影響が出てくるため、スケジュール通りの対応をしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>新型コロナウイルスの影響も落ち着いてきたなか、通常開催に近い形でのイベントが可能となると考えるため、入場者数・チケット売り上げ数につながるような内容の企画提案が必要となると考える。他文化イベント等とより差別化できるよう、市内文化団体や地域と密な連携をとり、沖縄市の色を出せるような事業内容を検証する。また、ラジオ・テレビなどのメディアや、広告物の配布など、誘客につながるような効果的な広告活動を実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
18,000	17,844	14,275	3,569	156

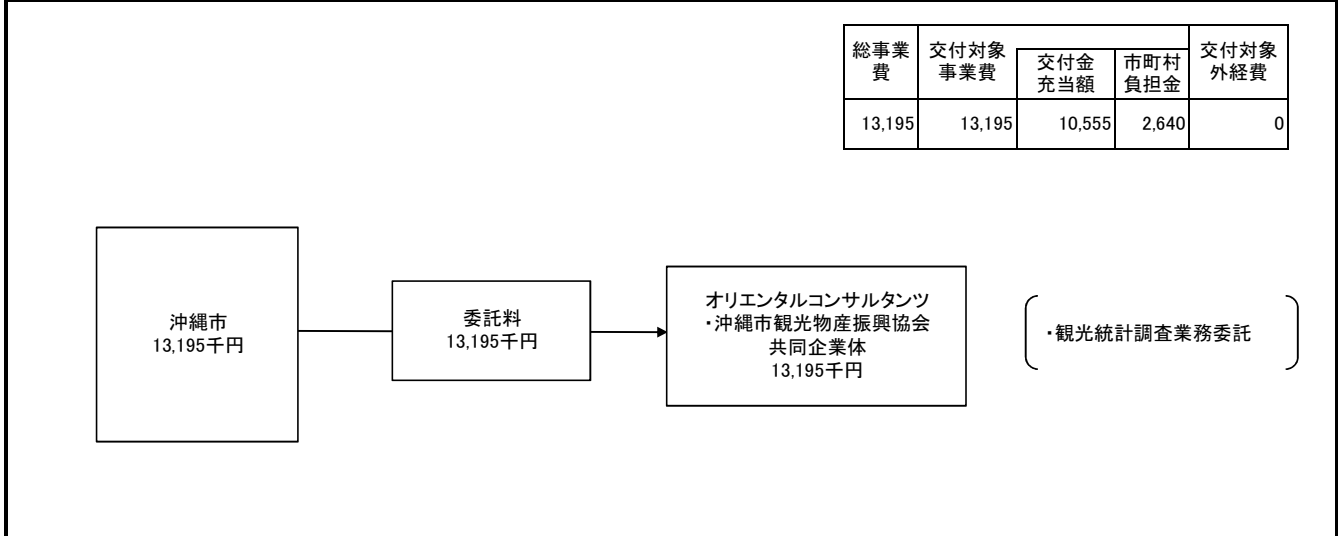


資金の流 れ、 点 検 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	観光統計調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成30~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光施策による観光誘客を目的として、本市の観光の実態調査を行う。アンケート調査およびビッグデータやICT等の統計データの活用など、多角的に分析を行うことにより、本市の観光施策展開のための基礎資料とする。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度以降)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,286	7,992	13,195	13,195	13,195
		(b)予算現額	11,286	7,992	13,195	13,195	13,195
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		11,286	7,992	13,195	13,195	13,195
	B.執行済額		11,280	7,986	13,185	13,195	13,195
	うち交付金充当額		9,024	6,388	10,547	10,555	10,555
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・観光入込統計調査及び分析の実施 ・観光関連団体等との勉強会開催		目標	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明		観光統計調査事業として下記を実施した。 ①国や県、本市の観光統計について整理。 ②携帯GPSデータを活用し、観光客の動態分析を実施。 ③大型イベント・スポーツキャンプ等における観光動態分析を実施。 ④WEBアンケートの実施、市内ホテルの宿泊実績の把握調査を実施。 ⑤市内観光関係者との勉強会の開催。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度以降)
	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化		目標	() (完了)	(完了)	(完了)	()
			実績	/	完了	完了	/
	【参考指標】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。		目標	() ()	()	()	(実施)
			実績	/			/
進捗状況説明		沖縄市観光統計調査報告書として、下記の内容を取りまとめ、紙媒体での発行及び市HPにおいて公表した。 ①観光実態調査、②観光客満足度・消費動向調査、③調査結果の利活用に向けた市内観光関係者との勉強会、④マーケティング分析、⑤今後の方向性					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の事業者による観光統計情報に基づいた(活用した)企画・事業提案等を促進する取り組みも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部市町村を巻き込んだ広域での調査ができるか検討をおこなう。 ・高齢者や障がい者、妊産婦等、誰でも安心して観光を楽しんでいただけるよう「観光バリアフリー」の実現に向けた検討を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・中部市町村、関係機関と連携して、広域的に調査がおこなえるか検討をおこなう。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

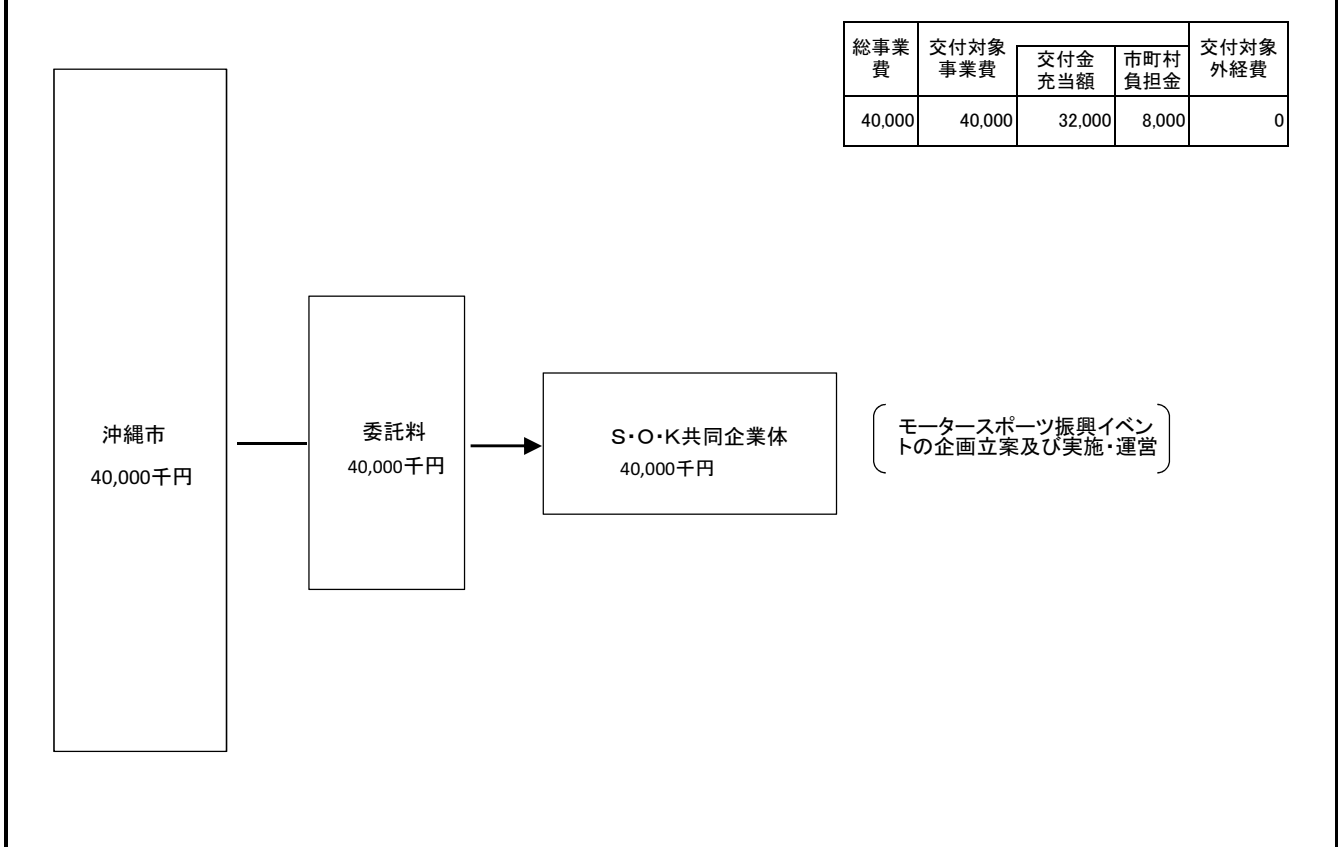


資金 使途の 流れ 点検 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業については、公募型プロポーザル方式により業者を選定し、選定方法は妥当だと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○本事業は費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		モータースポーツ推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	企画部 プロジェクト推進室		事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進
事業内容		モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るため、沖縄市コザ運動公園を会場としたイベントを開催し、モータースポーツの聖地化に向けた機運を醸成する。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	30,000	36,445	0	0	40,000
	(b)予算現額	34,375	36,445	0	0	40,000	
	(c)増減額(b-a)	4,375	0	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	34,375	36,445	0	0	40,000	
	B.執行済額	33,324	36,483	0	0	40,000	
	うち交付金充当額	26,659	29,186	0	0	32,000	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	96.9%	100.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
予算の状況の説明		事業全体として、計画通り執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	モータースポーツイベントの開催1件		目標 (実施)	(-)	(-)	(1件)	
			実績	実施	-	1件	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	<p>第6回目となる「コザモータースポーツフェスティバル2023」について、11月5日(土)、6日(日)の2日間、沖縄市コザ運動公園及び沖縄アリーナを会場に開催した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度~3年度の2年間、イベントが中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となった。今年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、体験型コンテンツの実施を控えるなど、コロナ禍におけるイベント実施手法を模索し、復活開催を実現した。特に、今年度は沖縄アリーナを活用した「モーターショーエリア」を新たに実施した。</p> <p>県内モータースポーツ競技団体をはじめ、県内自動車メーカー、日本自動車連盟(JAF)沖縄支部、沖縄警察署など、様々な団体や関係企業、関係機関と連携・協力を図り、モータースポーツに関する様々なコンテンツの実施や交通安全の普及・啓発など、モータースポーツに関する総合イベントとして実施し、本市が推進するサーキット建設への取り組みについて広く発信するとともに、更なるモータースポーツの振興を図ることができた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	イベント来場者数:42,000人		目標 ()	(-)	(-)	(42,000人)	()
			実績		-	-	20,000人
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度~3年度の2年間、イベントが中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となった。今年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、体験型コンテンツを控えるなど、コロナ禍におけるイベント実施手法を模索して復活開催を実現した。</p>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>令和2~3年度の間、本イベントが中止を余儀なくされ、事業推進に大きな影響を受けた。</p> <p>また、ブランク期間による認知度の低下、開催日程の短縮、人気があった体験型コンテンツの抑制など、様々な要因により目標の達成には至らなかった。</p> <p>一方、本市では令和3年度に県内モータースポーツの拠点施設となる「モータースポーツマルチフィールド沖縄」を整備完了、供用開始するなど、モータースポーツの認知度向上、普及啓発の取り組みを着実に推進している。</p> <p>今後の継続実施に向けては、事業収入等の創出によるイベントの自立化に向けた検討を行う必要がある。</p>	<p>今年度から新たに実施した、沖縄アリーナを活用した「モーターショーエリア」の発展・拡充させることで、観光客を含む来場者を誘因し、目標達成を図る必要がある。</p> <p>また、本事業に協力・参画する関連企業等との連携により、事業収入の創出による自立化に向けた取り組みを行う。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>沖縄アリーナを活用した「モーターショーエリア」の発展・拡充を図る。また、これまで市が実施主体となり、委託事業として本イベントの実施を行ってきたが、今後の継続化に向けては、本事業に協力・参画する関連企業等による協賛金の確保やイベント参加事業者からの参加負担金の徴収など、事業収入の創出に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



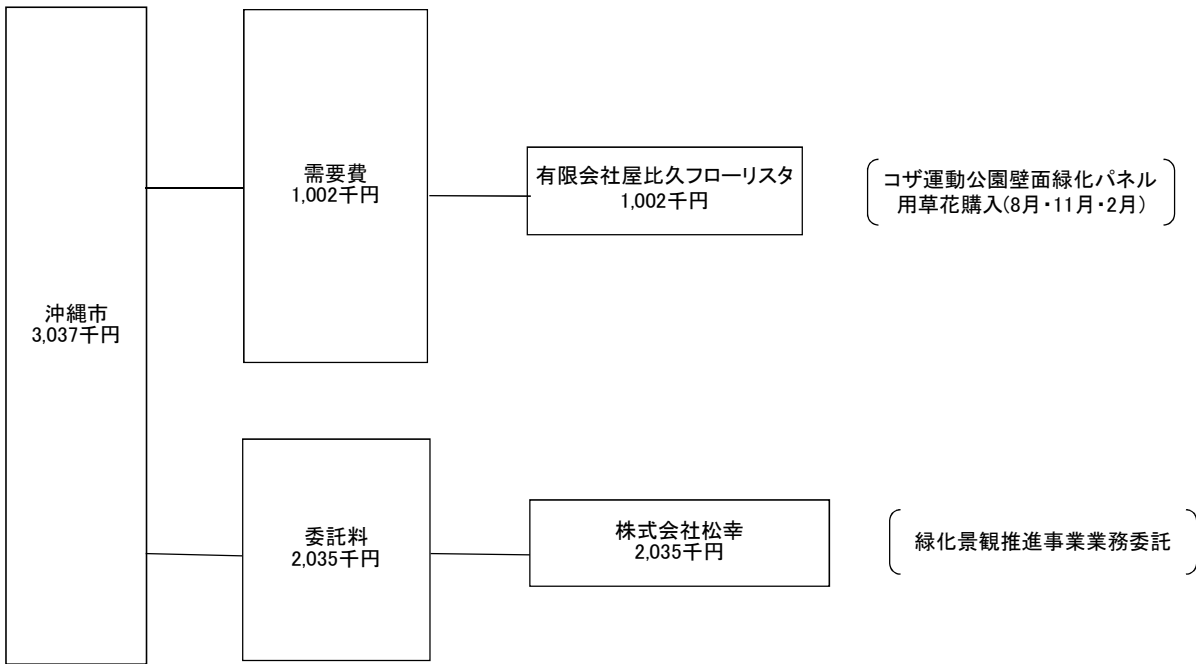
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、公募型プロポーザル方式により、評価委員会での審査により適切な事業者として選定を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○県内モータースポーツ団体をはじめ、県内自動車メーカー、沖縄警察署など、関係機関及び関連団体との連携を図り、限られた予算の中で協力を仰ぎながら本事業を実施しており、事業計画に沿った適正な予算規模となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託先及び各団体などに対し、事業実施前に費目・使途など経理処理等についての説明を行い、適切な予算執行に努めている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	緑化景観推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	建設部 公園みどり課	事業実施(予定)年度	平成30~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-10-1	
事業内容	観光地周辺道路へ亜熱帯植物の配置、道路に面している公園側の壁面緑化パネルの花の植付を行うことで、沖縄らしい風景を創出し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,107	7,479	8,089	8,550	3,098
		(b)予算現額	4,107	7,479	8,089	8,550	3,098
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		4,107	7,479	8,089	8,550	3,098
	B. 執行済額		3,771	7,063	7,623	7,451	3,037
	うち交付金充当額		3,019	5,650	6,098	5,690	2,429
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.8%	94.4%	94.2%	87.1%	98.0%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行しており、不用額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える(3回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	3回	3回	3回	3回	
	①プランターの設置 ②亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽	目標	(①70基 ②140本)	(①70基 ②140本)	(①70基 ②140本)	(-)	
実績		①70基 ②140本	①70基 ②140本	①70基 ②140本	-		
達成状況説明	コザ運動公園の壁面緑化パネルに8月、11月、2月の3回季節の草花を植え替えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		81.13%	81.17%	87.92%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・アンケートについては、本市の玄関口である沖縄南インターチェンジ前に位置するコザ運動公園において2月に実施をし、集計した結果、目標に達した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・緑化パネル草花の配置による模様を工夫することで目標を達成できたため、引き続き草花の配置を工夫した模様デザインを継続する。</p>	<p>・緑化パネルについては、花の色とコントラストを生かした配置を工夫して、魅力的な景観形成を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・花の色によるコントラストを工夫し、花文字や沖縄ならではの模様ミンサ柄など目を引くように草花を配置する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,037	3,037	2,429	608	



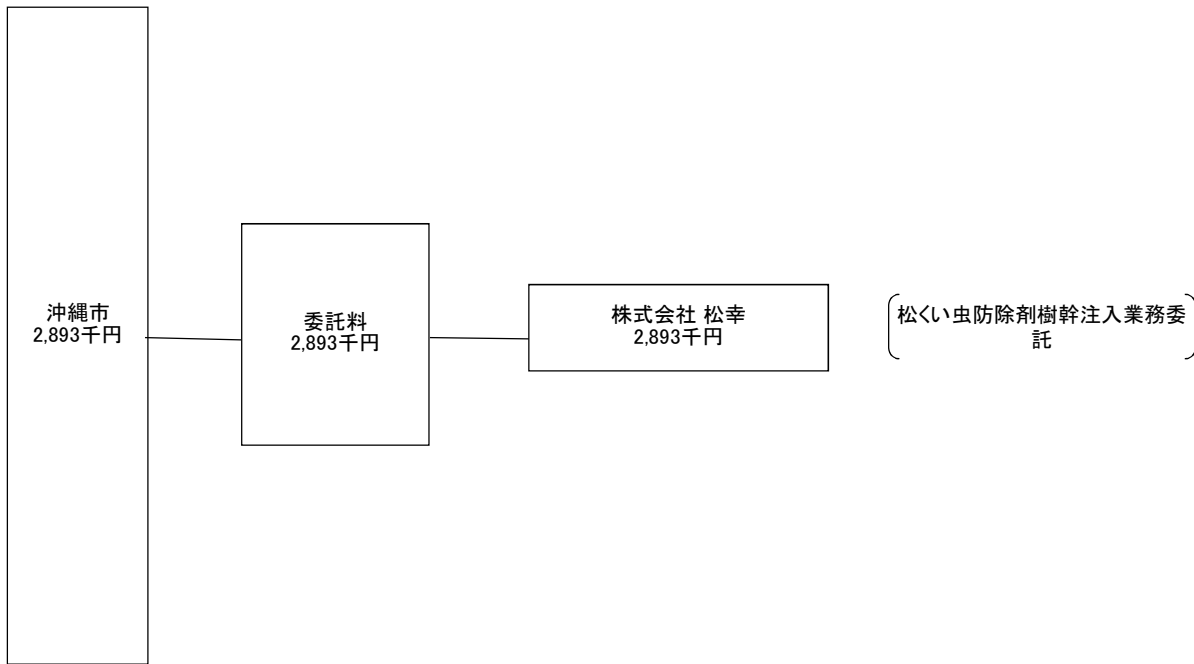
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	リュウキュウマツ保全事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ		
担当部課名	建設部 公園みどり課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-10-1		
事業内容	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,994				
		(b) 予算現額	2,994				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	2,994					
	B. 執行済額	2,893					
	うち交付金充当額	2,314					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	96.6%					
予算の状況の説明	事業全体として、計画通り執行している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	市内公園内のリュウキュウマツ約120本に薬剤注入	目標	(120 本)	()	()	()	
		実績	112 本				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	リュウキュウマツ120本分の薬剤注入を予定していたが、幹回りの太さが想定より太かったため112本の薬剤注入となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	薬剤を注入した約120本のマツのうち、約116本(97%)の枯死被害を防止	目標	()	(97 %)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	薬剤注入により、リュウキュウマツ112本の枯死被害を防止した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内の他地域で、松くい虫が原因とみられる枯れ木の被害が増えているとの情報がある。今後、本市にもその影響が出た場合、防除対策が間に合わなく可能性が懸念される。	松くい虫の枯れ木被害が発生する前に薬剤注入を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
薬剤注入を継続し、松くい虫による枯れ木被害を防ぐ。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,893	2,893	2,314	579	



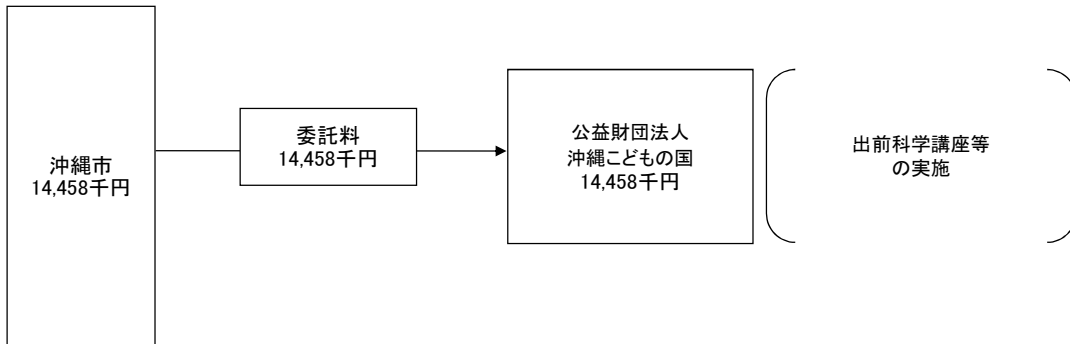
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	こども科学力育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ		
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	21,866	17,680	15,000	14,461	14,461
	(b) 予算現額	21,866	17,680	15,000	14,461	14,461	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	21,866	17,680	15,000	14,461	14,461	
	B. 執行済額	18174	17,680	15,000	14,461	14,458	
	うち交付金充当額	14538	14,144	12,000	11,568	11,566	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	83.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算は計画通りに執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	①科学イベント開催 ②科学ワークショップ開催 ③出前科学教室(130コマ) ④科学研究支援(6校)	①3回 ②30回 ③120コマ ④6校	①1回 ③96コマ ④6校	③100コマ ④6校	③130コマ ④6校	
実績		①3回 ②38回 ③216コマ ④6校	①0回 ③195コマ ④6校	③193コマ ④5校	③235コマ ④6校		
達成状況説明	本事業が十分に周知されている学校から多数の申込があり、出前科学教室は200コマを超える実施に至った。また、Withコロナのフェーズに入り、学校現場ではより活発な学習活動が行われ科学研究支援についても目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上)	目標	()	(95%以上)	(94%以上)	(95%以上)	()
		実績		97%	97.8%	97.9%	
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	参加児童生徒が楽しめるプログラムを実施し、科学への興味・関心が高めることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①学校ごと、学年ごとの取組み状況に偏りが見受けられる。 ②OIST連携事業について参加申し込みが少ない。	①取組状況に偏りが生じないよう取組みの改善が求められる。 ②より多くの児童生徒の参加ができるよう開催方法を検討する。
今後の取組み方針		
①中間申し込みの検討など、事業運営の改善に取り組む。 ②より多くの児童生徒の参加を促進できるよう事業運営の改善に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
14,458	14,458	11,566	2,892	0

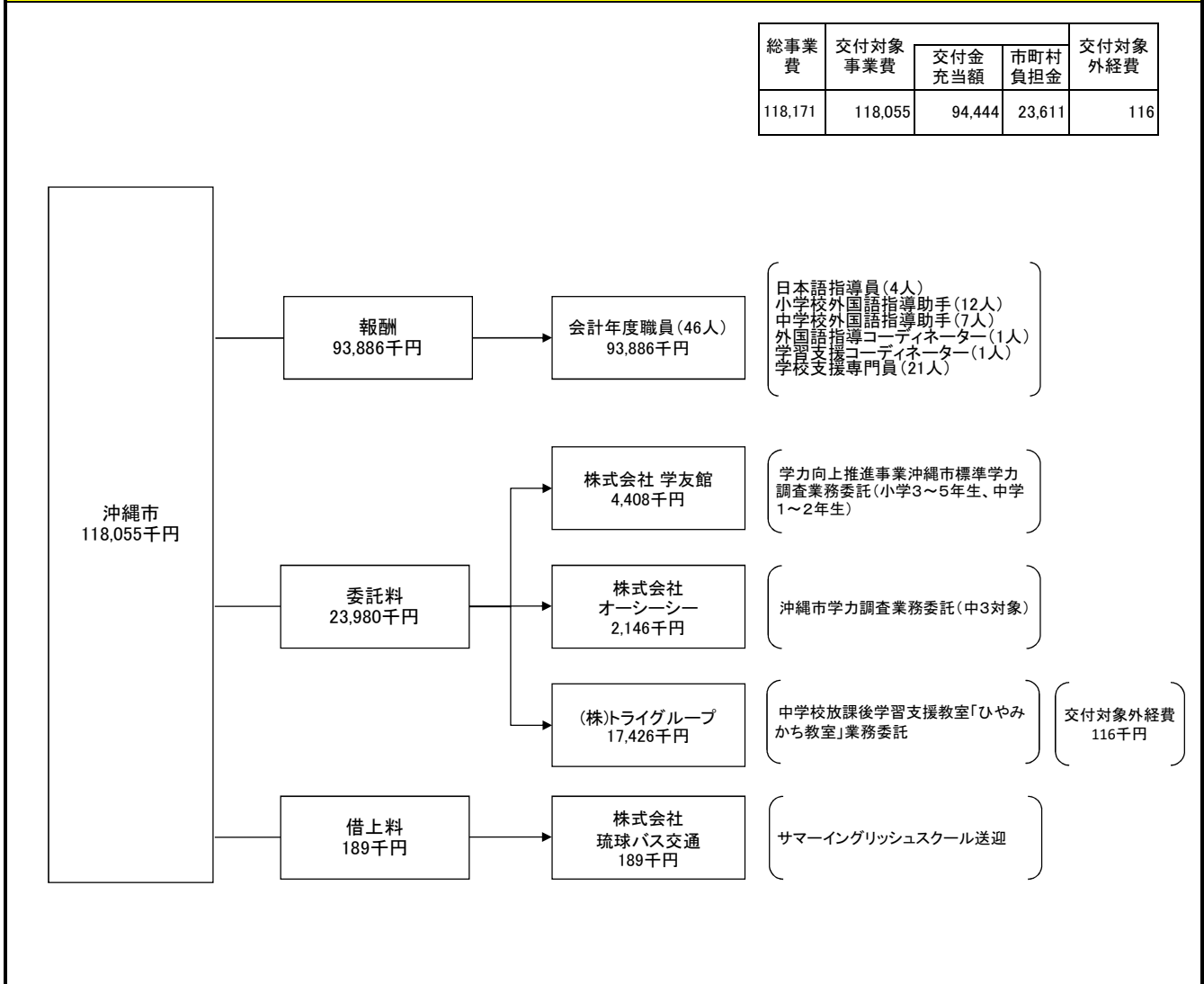


資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、財務規則に則って選定しており妥当であると考え。 ○予算規模について、前年度までの実績及び事業計画に基づき精査等を行っており、適正な規模となっている。 ○費目・使途について、事業内容を達成するために必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等の配置や放課後学習支援の実施により、きめ細やかな指導の充実に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度()年度						
実施方法	■直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	161,264	162,958	133,097	128,008	132,108
		(b)予算現額	161,264	162,958	131,221	124,775	122,157
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲1,876	▲3,233	▲9,951
		(d)繰越額	0	0		0	
		A.計(b+d)	161,264	162,958	131,221	124,775	122,157
		B.執行済額	144,510	148,962	125,520	119,541	118,055
		うち交付金充当額	115,607	119,169	100,416	95,633	94,444
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	89.6%	91.4%	95.7%	95.8%	96.6%
予算の状況の説明		概ね計画どおりに執行できたが、会計年度任用職員の配置に至らなかったことによる不用額を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標		(① 4 ② 25 ③ 24 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 6)	(① 4 ② 19 ③ 20 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1)	(① 4 ② 19 ③ 23 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1)	(① 4 ② 19 ③ 23 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1)	
	実績		(① 4 ② 25 ③ 22 ④ 5 ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 9 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 9)	(① 4 ② 19 ③ 20 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ 7 ⑧ 3 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 19 ③ 23 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ - ⑧ 2 ⑨ 1 ⑩ 8)	(① 4 ② 19 ③ 21 ④ - ⑤ 1 ⑥ 1 ⑦ - ⑧ 2 ⑨ 1 ⑩ 8)	
	①日本語指導員の配置(人)						
	②外国語指導助手の配置(人)						
	③学習支援員の配置(人)						
	④学校支援専門員の配置(R2以降無し)						
	⑤学習支援コーディネーター(人)						
	⑥外国語指導コーディネーター(人)						
⑦外国語クラブ活動(R2以降無し)							
⑧研修会の開催(回)							
⑨学力調査(回)							
⑩中学校学習支援教室(校)							
況達説明状		概ね目標を達成することができたが、学習支援員については計画人数を確保することができなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差(小学校)		目標 ()	()	()	(±1ポイント以内)	()
			実績	-	-1ポイント	-4.9ポイント	
	②全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差(中学校)		目標 ()	()	()	(-5ポイント以内)	()
			実績	-	-6ポイント	-7.7ポイント	
	況進説明状		小学校、中学校ともに目標を達成することができなかった。基礎学力の定着や学習に向かう態度などに課題があると考えられる。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①中学校において学習支援策を講じながらも目標を達成できていない状況が続いている。 ②国語と算数(数学)の学習内容の定着は、他教科の学習内容の理解にも重要であるため、学年内での定着度を確認することが必要であるが、小3国語、小6国語・算数について客観的に定着度を把握できていない。また、中1英語の定着度を確認し、つまづきを初期で改善する必要がある。	①中学校における学習支援策の改善を図る必要がある。 ②小3国語、小6国語・算数、中1英語について客観的に定着度を把握できるよう取り組む必要がある。
	今後の取り組み方針	
①中学校の学習支援については、学校の現状と課題に応じて柔軟に対応できるよう、支援策の改善を図る。 ②小3国語、小6国語・算数、中1英語について、標準学力調査を追加する。		

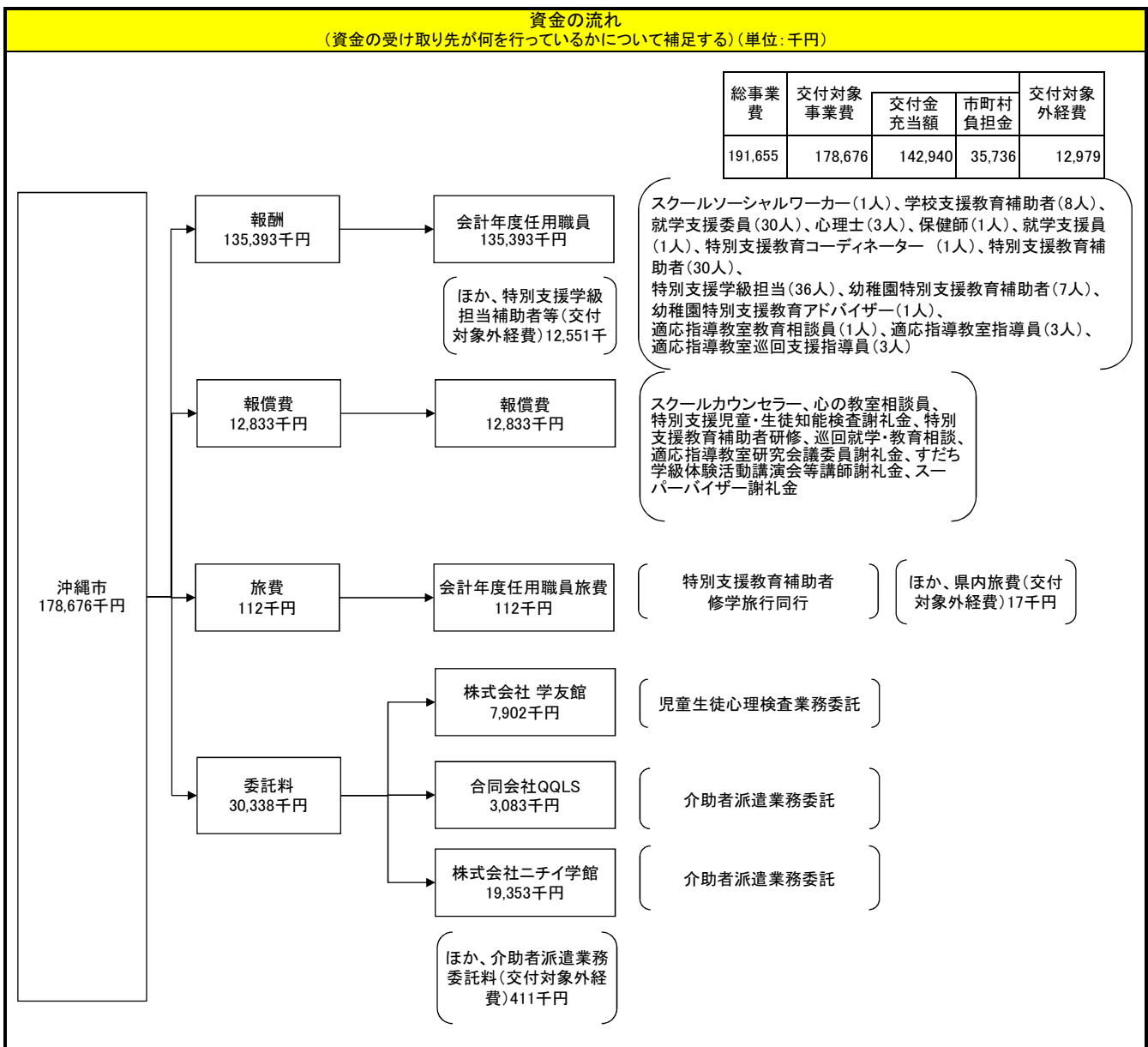
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ 点 検 査 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度職員は公募により選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託費については、公募型プロポーザル方式により選定しており、目的に即し適正なものとなっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○報酬については、市の規程に基づく単価により積算した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的に即しており、必要なものに限定されているかを確認した上で、支出している。

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	気になる子等の学びを支援する事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部課名	指導部 指導課 指導部 市立教育研究所 こどものまち推進部 保育幼稚園課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	271,228	227,021	225,871	249,190	245,088
	(b)予算現額	211,060	227,021	213,208	202,143	188,443	
	(c)増減額(b-a)	▲60,168	0	▲12,663	▲47,047	▲56,645	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	211,060	227,021	213,208	202,143	188,443	
	B.執行済額	191,619	168,961	200,701	190,831	178,676	
	うち交付金充当額	153,295	135,168	160,561	152,664	142,940	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	90.8%	74.4%	94.1%	94.4%	94.8%	
予算の状況の説明	概ね計画どおりに執行できたが、会計年度任用職員の配置に至らなかったことによる不用額を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	①就学支援委員(30名) ②公認心理士(2名) ③認定心理士(1名) ④保健師(1名) ⑤就学支援事務(1名) ⑥特別支援教育コーディネーター(1名) ⑦特別支援教育補助者(31名) ⑧スクールソーシャルワーカー(1名) ⑨学校支援教育補助者(8名) ⑩適応指導教室教育相談員(1名) ⑪適応指導教室指導員(3名) ⑫適応指導教室巡回支援指導員(3名) ⑬幼稚園特別支援担当(36名) ⑭幼稚園特別支援教育補助者(7名) ⑮幼稚園特別支援教育アドバイザー【臨床心理士】(1名)	(⑨10人)	(⑨5人)	(⑨8人)	(⑧1名⑨8名)	
実績	(⑩2人⑪2人⑫4人⑬33人⑭7人⑮0人)	(⑩2人⑪3人⑫3人⑬36人⑭7人⑮1人)	(⑩1人⑪3人⑫3人⑬41人⑭7人⑮0人)	(⑩1人⑪3人⑫3人⑬42人⑭7人⑮1人)	(⑩1人⑪3人⑫3人⑬37人⑭7人⑮1人)		
達成状況説明	①、②、③、④、⑤、⑧、⑨については概ね目標を達成できた。⑥特別支援コーディネーターは5月以降確保することができなかった。また⑦特別支援教育補助者については計画人数の配置に向けて人材確保に取り組んだものの配置に至らなかった。⑩教育相談員、⑪適応指導教室指導員、⑫巡回支援指導員を予定通り配置できた。⑬幼稚園特別支援担当については、年度途中の退職や療養休暇等により、最終的に2名の欠員となったが、⑭、⑮については目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度	目標	()	(70%以上)	(80%以上)	(85%以上)	()
		実績		83.1%	84.5%	82.7%	
	不登校児童生徒登校復帰率	目標	()	(21%以上)	(26%以上)	(30%以上)	()
実績			22.5%	18%	17.2%		
進捗状況説明	・特別支援においては、安全確保のための生活支援に時間を要し、学習支援に係る満足度が低下していることから、成果目標を達成することができなかった。今後とも支援の充実を図るため、福祉との連携を進めるなどの取り組みを進める必要がある。 ・不登校児童生徒の支援に取り組んでいるものの、登校復帰率の達成に至っていない。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園においては、令和3年度に引き続き、令和4年度も活動目標を概ね達成できているが、毎年、年度取中の退職、療養休暇等が一定者数あり、一時的に他職員や副園長先生への負担が生じている状況がある。 ・特別支援教育については、就学支援申請件数の増加傾向に伴い、審議する委員の負担が増してきている。また、補助者が不足するなか、安全面に配慮した生活支援を優先せざるを得ない現状にあたるため、学習内容の理解や習熟に係る学習支援の満足度低下を招いてしまったと分析している。そのため、補助者だけではなく教職員においても、児童生徒への接し方や支援方法を学び、生活支援に係る支援のウエイトを減らすことで、学習支援の充実につなげる必要がある。 ・不登校児童生徒は、それぞれ異なる多様な背景により不登校となっている。また、近年、中学校では200名程度で推移しており、小学校では増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で勤務する職員が安心して働ける環境を整備するとともに、園業務の効率化や改善等を行うことで、職員の負担軽減を行い児童(特に気になる子)への対応に専念できる環境を整える必要がある。 ・特別支援教育については、就学支援委員会における審議の適正化に向けて取り組むとともに、特別な支援を要する児童生徒の支援の充実に向け、個々の発達特性に応じた児童生徒理解を深め、接し方や支援方法のスキル向上に向けた方策を検討する必要がある。 ・不登校児童生徒への支援については、試行錯誤を重ねながら、支援の選択肢や継続性など、支援策の改善を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育アドバイザー【臨床心理士】による定期的な園訪問により職員状況の確認や市産業医面談と連携するなど、サポート体制の強化を図る。 ・幼稚園への事務員の配置や用務員の配置を行い、職員の負担軽減を図ることで、今以上に児童(特に気になる子)への対応に専念できる環境を整える。 ・特別支援教育については、就学支援委員会運営の改善を図るとともに、特別な支援を要する児童生徒の支援の充実に向けて、療育的視点を踏まえた支援モデル事業に取り組む。 ・不登校児童生徒の支援については、長期休業期間中も支援が途切れることが無いよう取り組むとともに、不登校児童生徒の新たな受け皿確保に向けて、児童館との連携モデル事業に取り組む。 		



資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は入札あるいは公募型プロポーザル方式により決定している。 ○執行率は94.8%となり、予算規模は目的に即し適正なものとなっている。 ○費目・使途は、気になる子への支援に要する人件費や心理検査業務委託料など、事業目的に即し真に必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

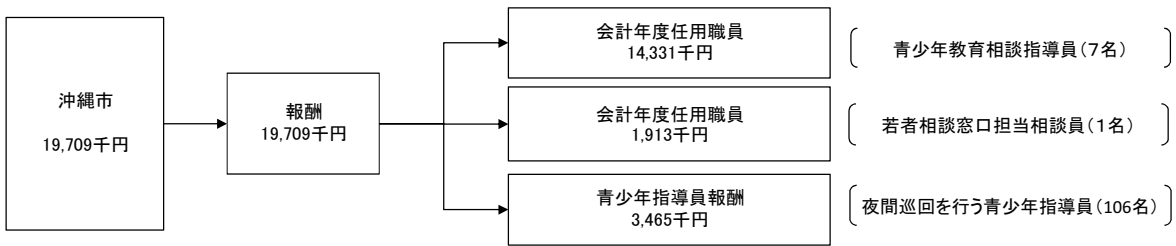
市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	青少年等支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-イ		
担当部課名	指導部 青少年センター	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・若者の育成支援		
事業内容	青少年の健全育成を図るため、青少年指導員による夜間の街頭指導や青少年教育相談指導員による教育相談や登下校の巡回指導、各種体験活動等を行った。また、若者相談窓口担当相談員を設置し、困難を有する若者の自立や非行に関して悩みを抱えている家族や本人等に対し、相談支援を行った。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(a) 当初予算額	27,738	25,438	23,306	23,436	23,332	
	(b) 予算現額	27,738	25,438	20,820	21,756	20,760	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 2,486	▲ 1,680	▲ 2,572	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	27,738	25,438	20,820	21,756	20,760	
	B. 執行済額	25,091	23,746	19,633	18,184	19,709	
	うち交付金充当額	20,072	18,997	15,706	14,547	15,767	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	90.5%	93.3%	94.3%	83.6%	94.9%	
予算の状況	予算の状況の説明 予算現額については、コロナウィルス蔓延防止のため、5～8月分青少年指導員の夜間巡回が中止となったことにより減額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	青少年教育相談指導員7人配置	目標	(8名)	(7名)	(7名)	(7名)	
		実績	8名	7名	7名	7名	
	青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人	目標	(1,760人)	(1,120人)	(1,280人)	(1,760人)	
		実績	2,346人	905人	817人	990人	
若者相談窓口担当相談員1人配置	目標	(2名)	(1名)	(1名)	(1名)		
	実績	1名	1名	1名	1名		
達成状況説明	青少年教育相談指導員については、7名の配置ができた。青少年指導員の配置については、新型コロナウイルス感染症の影響により、夜間街頭指導が中止になる日が多かったため、目標1,760名を達成することができなかった。若者相談窓口担当相談員については、目標どおり1名を配置することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	午前・午後巡回指導件数 前年度比17.2%減	目標	()	(22.75%減)	(39.4%減)	(17.2%減)	()
		実績		9%増	73%増	34.6%増	
	夜間・合同街頭指導件数 前年度比16.8%減	目標	()	(9.4%減)	(3.6%減)	(16.8%減)	()
		実績		51%減	49%減	52.3%増	
	若者の主訴改善件数31.6%増	目標	()	(11件以上)	(20件以上)	(前年度比31.6%増)	()
実績			25件	25件	前年度比36%減		
進捗状況説明	・午前・午後巡回指導件数は、前年比34.6%増となり、目標を達成できなかった。 ・夜間・合同街頭指導件数は、前年比52.3%増となり、目標を達成できなかった。 ・若者の主訴改善件数は、前年度比36%減となり、目標を達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・午前・午後巡回指導件数は、前年104件から140件と36件の増加となった。令和3年度は、コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響により指導件数が少なかったが、令和4年度は、コロナウイルスの影響が緩和され、指導件数が増加したと考えられる。 ・夜間・合同街頭指導件数は、前年比52.3%増となった。夜間街頭指導は、令和3年度はコロナウイルス蔓延防止のため、中止の回数が多かったが、令和4年度は夜間街頭指導の実施の回数が回復したためと考えられる。 ・若者の主訴改善件数は、前年度比36%減となった。若者相談窓口について、関連する他機関と連携し、周知活動を強化していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育相談指導員による午前・午後の登下校巡回については、学校や地域、警察等と情報共有を行い、継続的に実施する。 ・夜間巡回については、青少年指導員の人数を確保し、コロナウイルス等社会状況の厳しさはあるが、感染防止対策をしっかりと行いながら、夜間巡回指導を確実に実施できるようにする。 ・若者相談窓口については、学業や就労にかかる相談のほか、福祉分野にかかる相談もあり、複雑化・多様化しているため、担当相談員の増員についても検討する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・午前・午後巡回については、巡回の回数は確保しつつ、青少年教育相談指導員が対応する児童生徒の家庭訪問での登校促しや、青少年センターでの体験活動の回数を増やし、不登校児童生徒の減少をめざし取り組んでいく。 ・青少年指導員の夜間巡回は、これまで通り回数を減らさずに継続して実施するとともに、各中学校区(学校、自治会等)単位における募集を兼ねた周知・広報活動を行い人材確保に取り組む。 ・若者相談窓口については、相談内容が複雑化・多様化しているため、担当相談員の増員を行い、関連する他機関との連携を強化していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,709	19,709	15,767	3,942	0

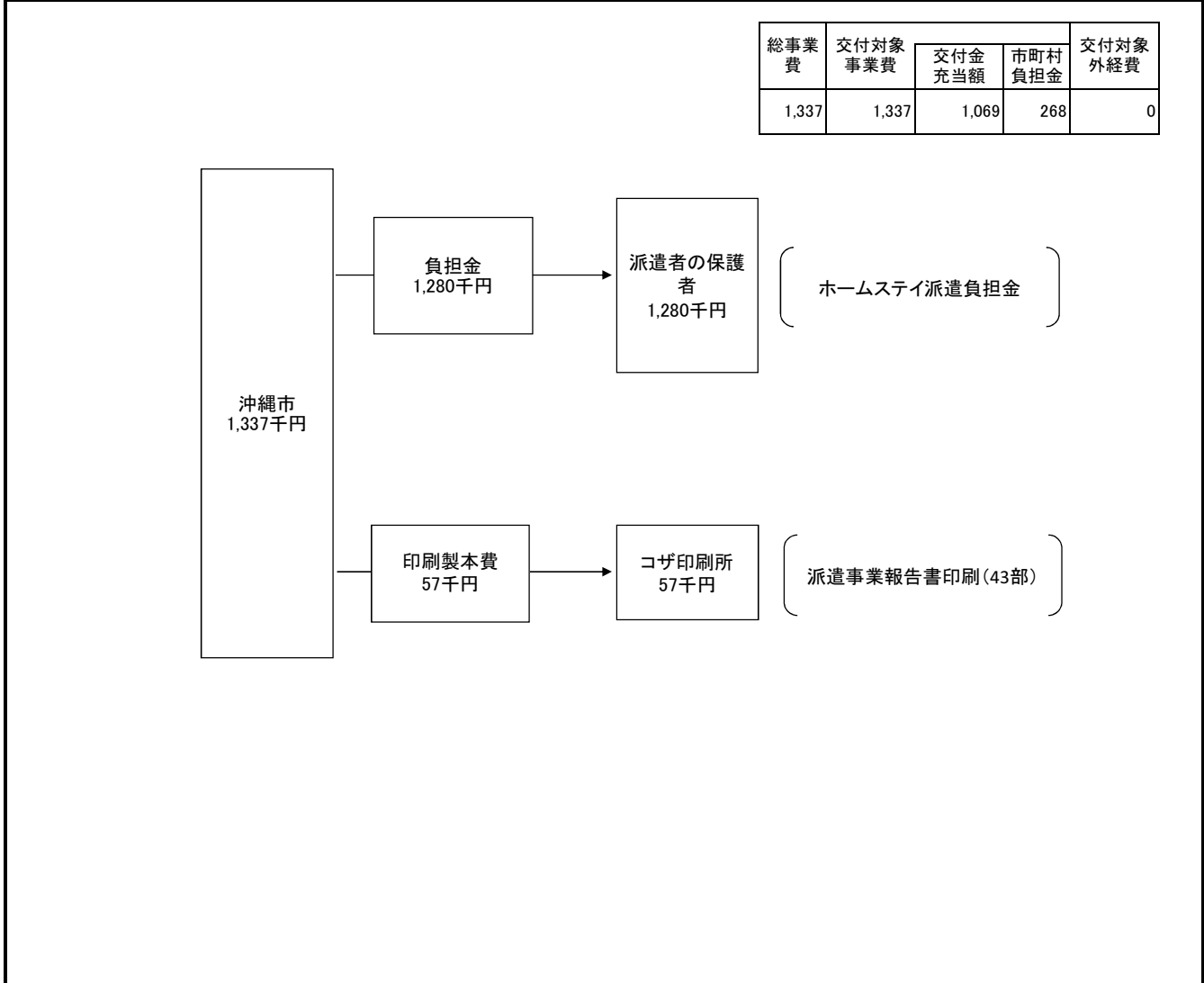


資金使途の流れ・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○青少年指導員は、市内小中学校や各自治会からの推薦を基に委嘱しており、適切に選定している。 ○報酬は市の規程に基づく単価となっており、予算規模は事業内容に見合った適正なものとなっている。 ○費目・使途については、事業内容を達成するために必要なものであり、活動状況に応じた必要最小限の支出となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進	
事業内容	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象に海外短期ホームステイ活動を支援し、海外文化交流等を通じて、国際理解教育を推進する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	5,525	6,874	0	0	1,428
	(b) 予算現額	5,750	6,874	0	0	1,428	
	(c) 増減額(b-a)	225	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	5,750	6,874	0	0	1,428	
	B. 執行済額	5,750	5,992	0	0	1,337	
	うち交付金充当額	4,600	4,793	0	0	1,069	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	87.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	93.6%	
予算の状況の説明	派遣事業について、新型コロナウイルス感染症対策として海外から県内に派遣地を変更し、計画していた人数分の実施ができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	中学生を海外短期ホームステイへ派遣する		目標 (12名)	(-)	(-)	(13名)	
			実績 12名			13名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	県内在住の外国籍ファミリー宅に、市立中学校13名を派遣し、ホームステイ方式による異文化交流及び語学研修を実施することができた。 期間:令和4年10月9日 派遣数:13名 市立中学校生徒1(2年生～3年生)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	保護者アンケート:派遣前と比較し生徒の国際的視野が広まったと感じた割合		目標 ()	(-)	(-)	(90%以上)	()
			実績			90%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	保護者アンケート結果、90%から国際的な視野が広まったと評価され、目標を達成することができた。 海外ニュース等の視聴機会の増加、他国の文化についてもっと知りたいなど声があり、国際理解教育を推進することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスに係る入国制限が解除され、平常時に戻る可能性がある。 事後アンケートにおいて、ホームステイ先で、もっと自発的に話をするべきだったという意見が見受けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外ホームステイの本格的な再開に向けて取り組む必要がある。 生徒の主体性をより引き出せるよう取り組んでいく必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 感染症等をはじめとした世界情勢に対応し、派遣生徒が安心安全に参加できるように海外ホームステイに取り組む。 ホームステイ本番へ向けてしっかりとしたテーマを持たせるなど、生徒の目的意識を高められるよう取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

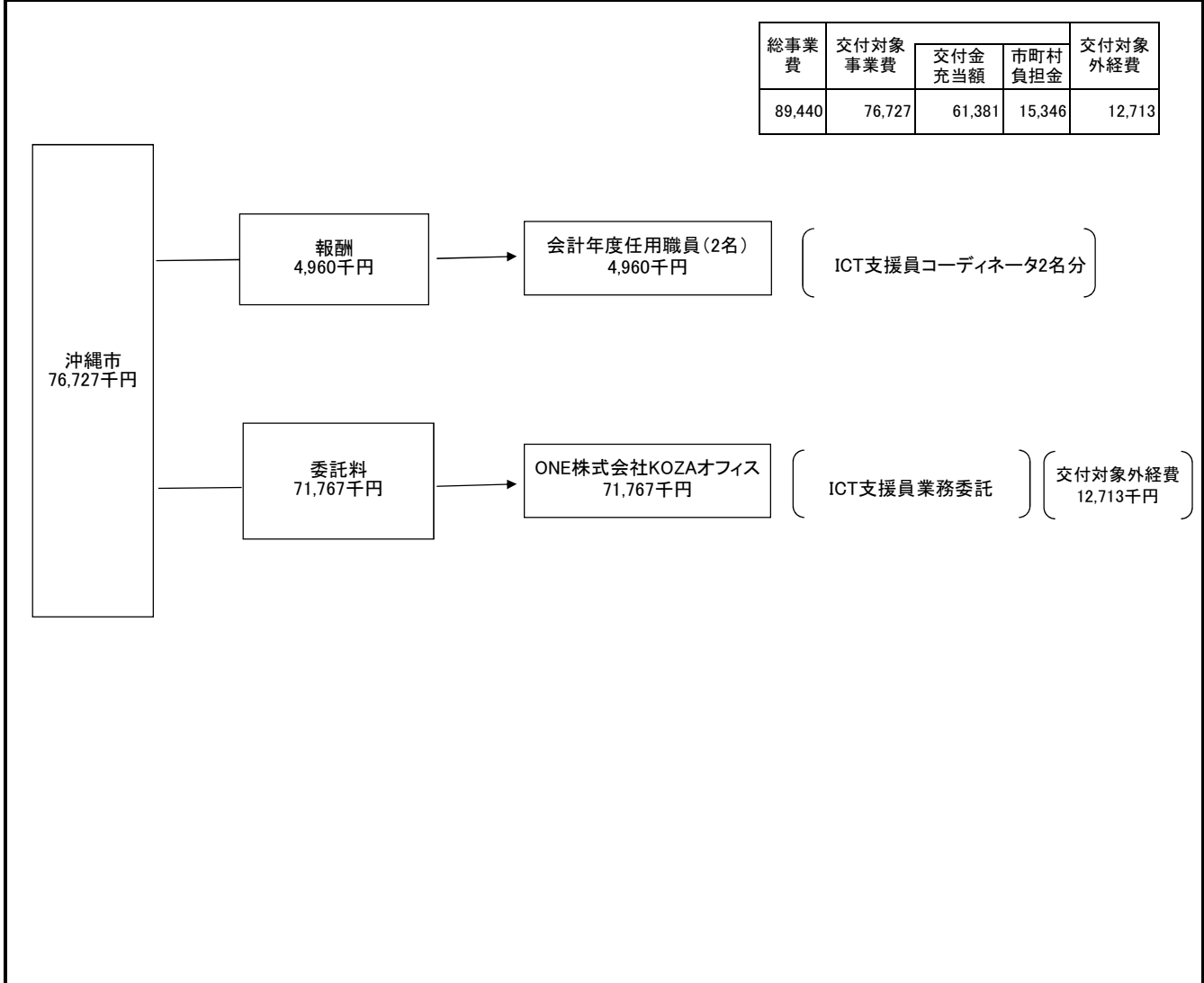


資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣生徒は各学校の推薦に基づき、市教委の面接を行って選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染症対策として、海外から県内へ派遣地の変更等があったが、事業内容に適した派遣人数で概ね計画通り執行でき、適正な予算規模であると考えられる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本市の負担額は8割(要保護・準要保護以外)としており、本市の将来を担う人材育成事業の派遣に要する費用として妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途も真に即し必要なものに限定されている。

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥	学校ICT活用支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育研究所	事業実施(予定)年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	75,491				
		(b)予算現額	75,393				
		(c)増減額(b-a)	▲98				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	75,393					
	B.執行済額	76,727					
	うち交付金充当額	61,381					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	101.8%					
予算の状況の説明	12月補正により、会計年度任用職員(ICT支援員コーディネータ)の報酬を任用資格差額により減額。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ICT支援員の配置15人(内勤3名含む)	目標	(15人)	()	()	()	
		実績	15人				
	ICT支援員コーディネータの配置 2人	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
	巡回支援校数 24校	目標	(24校)	()	()	()	
実績		24校					
達成状況説明	ICT支援員コーディネータ2名を任用した。業務委託により、ICT支援員を15名(内勤3名含む)配置し、24校に巡回支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上	目標	()	(80%)	()	()	
		実績		87%			
	ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	目標	()	(80%)	()	()	
		実績		94%			
進捗状況説明	アンケートを実施し、「授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上」及び「ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上」を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・教職員がICT機器を使用する際に、機器の操作等をICT支援員に頼りきりになってしまう事例があった。</p>	<p>・ICT機器を使用する教職員の意識改革を行わなければならない。</p>
今後の取り組み方針		
<p>GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力の育成のため、教職員を引き続き支援していく。教職員への研修や講話を開催し、能動的にICT機器を活用できる資質・能力・意識の向上を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



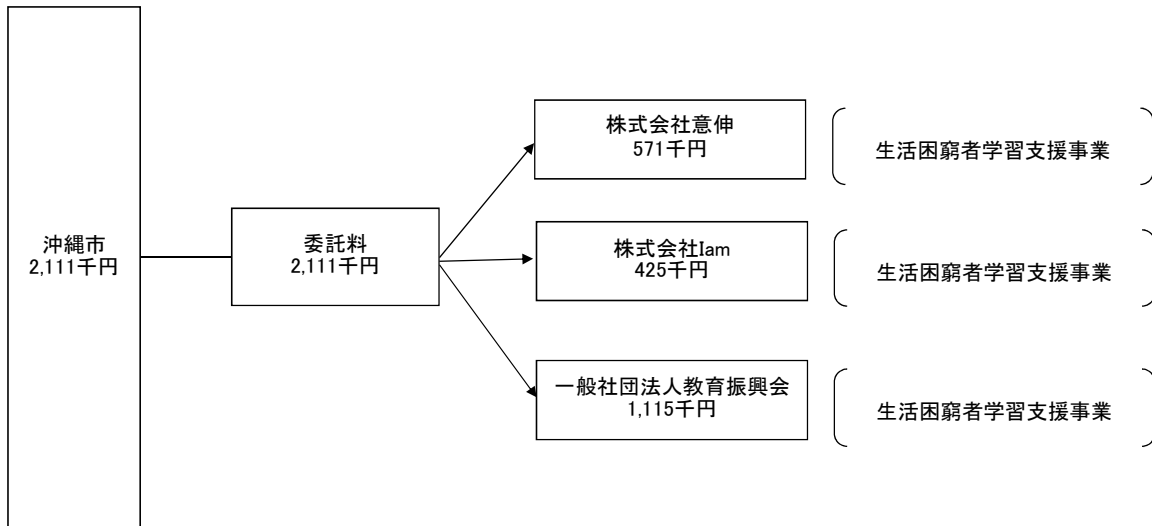
資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑦	生活困窮者学習支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-イ		
担当部課名	健康福祉部 保護管理課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	貧困状態にある子どもへの支援 Ⅲ-4-(1)		
事業内容	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,391				
		(b)予算現額	5,391				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	5,391					
	B.執行済額	2,111					
	うち交付金充当額	1,688					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	39.2%					
予算の状況の説明	不用額3,279千円の要因としては、当初予定していた目標数(定員20人)に届かなかったため不用額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	被保護世帯の中学1・2年生(定員:20名)に対する学習支援等の通塾、受験指導等	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	高校進学に向けた基礎学力及び学習意欲の向上、こどもの健全育成を図ることを目的に、個々の学力に応じた集合型、少人数単位のグループ学習を基本とした勉強の習慣付けや学び直しによる基礎学力の定着、高等学校進学に向けた受験指導や進路相談などの学習支援を行った。 また、保護者に対して、子どもの養育に必要な知識、進学に必要な公的支援等の情報提供を行うなどの養育支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テストの点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上	目標	()	(①85% ②10% ③95%)	()	()	()
		実績		(①86% ②19% ③100%)			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・学習教室への出席率について、委託業者の送迎や家族の協力もありの目標値を達成できた。 ・通学生徒の学力テストの点数増加率については、全体的に目標数値を上回った。 ・通学生徒の高校進学率については、目標数値を上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	貧困の世代間連鎖を防ぐための手段として高校進学を促進する必要があるため、本事業で取り組んでいる、高校進学に向けた中学1、2年生に対する学習支援等の受験指導の必要性について、被保護世帯へ周知する必要がある。	ケースワーカーや関係機関と連携するなど、被保護世帯への効果的な事業周知を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
ケースワーカーや関係機関と連携して、被保護世帯への詳細な事業目的の周知を行っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,111	2,111	1,688	423	



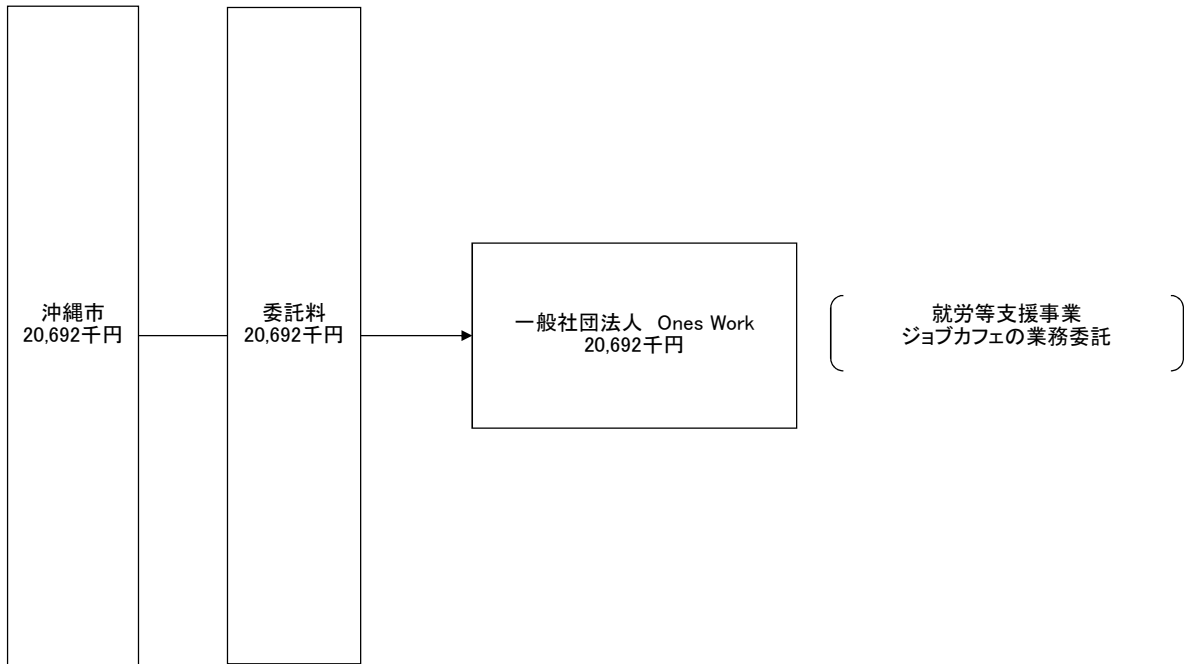
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価、 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。 ○費目・使途については、業務完了後に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①		就労等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ア	
	担当部課名	経済文化部 企業誘致課		事業実施(予定)年度	平成24~令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進
事業内容		若年者や子育て世代等、個々に応じた就労相談や各種講座等の実施、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。					
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	37,413	37,976	29,983	19,000	22,055
	(b)予算現額	37,413	37,976	29,983	19,000	22,055	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	37,413	37,976	29,983	19,000	22,055	
	B.執行済額	36,924	36,674	25,130	17,092	20,692	
	うち交付金充当額	29,537	29,338	20,103	13,673	16,553	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.7%	96.6%	83.8%	90.0%	93.8%	
予算の状況の説明		本事業は年間を通じて業務委託を行っており、不用額の発生理由は、入札残額及び概算契約の精算による残額であり、当初計画していた事業内容を適切に実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	就労相談 3,300人/年	目標	(2,000人)	(2,500人)	(3,000人)	(3,300人)	
		実績	3,860人	4,965人	7,448人	6,848人	
	職場体験 40件	目標	(35件)	(35件)	(35件)	(40件)	
		実績	51件	43件	27件	55件	
	学校における職業人講話、マナー講座等の実施	目標	(8校)	()	()	()	
		実績	実施				
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 就労相談について目標数値3,300人に対し、実績数6,448人と目標を大きく上回ったが、前年度よりは少ない。これは、従来の対面による面談以外にも、メール相談やオンライン面談(ZOOM)、LINEでの対応が若干減ったことが主な要因である。 職場体験については、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことにより、体験希望者の受け入れの企業が増えたため、目標を達成した。 					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度
就職決定者割合18.2%		目標	()	(22.7%)	(22.0%)	(18.2%)	()
		実績		15.2%	26.6%	33.5%	
参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		94%	100%	88%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 就職決定者割合について、新型コロナウイルス感染症が収束にむかっており、就職決定者が増加したため、目標値を達成した。 職業理解が深まったかについては、アンケートで目標を達成しており、参加者の就業理解が深まったことにより、職場体験後に採用決定になるなど、就職決定に繋げることができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が収束に向かっていて、前年度と比較し、有効求人倍率は改善傾向にある。しかし業種によっては人手不足が課題となっており、雇用のミスマッチが生じていた。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、以前は、対面での支援が難しくなっていたが、徐々に対面での支援を行うことで就労相談件数及び就職決定者の増加に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足の業種については、職場体験や企業説明会を通じ、業務内容や施設、環境などについて、実際に働いている職員の話を聞いたり、職場見学の機会を設けるなど、引き続き求職者の職業理解を促す取り組みが必要である。 求職者を就職決定に繋げるため、求職者に対し、一人ひとりに合ったきめ細やかな就労支援が求められる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 就業支援に専門的な知見、実績がある民間事業者に委託を行い、一人ひとりに応じたきめ細やかな就労相談体制を構築する。また、企業や関連機関と連携を図り、職場体験支援や企業説明会を実施するなどして、求職者の就職決定に繋げるよう取り組む。 事業所訪問やSNS等を活用した周知啓発活動の取組を推進することにより、新規利用者の獲得につなげる。 雇用情勢や企業のニーズに応じたセミナー等を開催し、企業に対して雇用に関して活用できる制度等の周知及び助言等を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
20,692	20,692	16,553	4,139	0



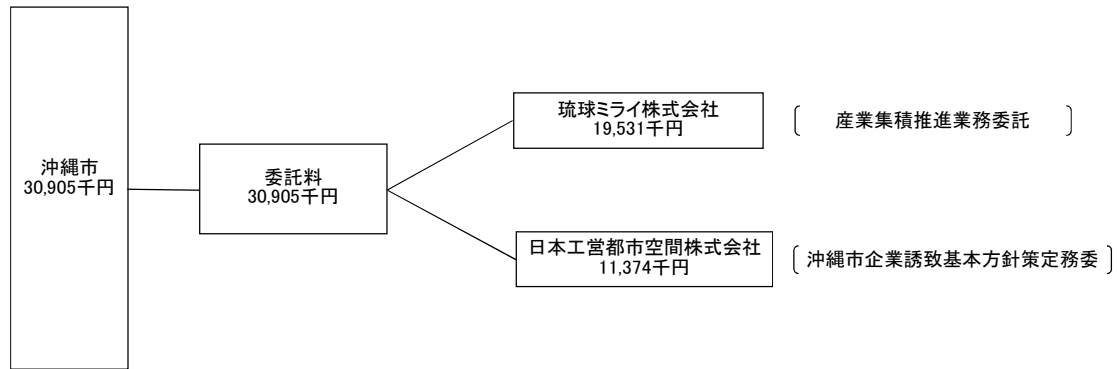
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できないため、企画提案プロポーザルにより企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、適当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事前に業者からの見積書を聴取し内容を精査しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	産業集積推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(6)-ア		
担当部課名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	令和2~令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スタートアップの促進		
事業内容	創業ワンストップ相談窓口や投資家、金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。また、企業誘致基本方針策定を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	39,703	29,000	20,000		
		(b)予算現額	39,703	29,000	35,000		
		(c)増減額(b-a)	0	0	15,000	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	39,703	29,000	35,000	0	0
		B.執行済額	32,923	25,066	30,905		
		うち交付金充当額	26,338	20,052	24,723		
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	82.9%	86.4%	88.3%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	本事業は、年間を通じて業務委託を行っており、未執行額は契約残額及び概算契約の精算によるものとなっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度		
	①創業スクール実施回数(スクール最終回としてのピッチイベント含む):3回 ②創業相談件数(個別相談)100件 ③スタートアップ型創業機運醸成イベント:10回 ④支援先スタートアップの県内外ピッチイベント出場支援:10社 ⑤投資家や金融機関と起業家の面談実施回数:20回 ⑥企業誘致雇用施策基本方針の策定	目標	()	()	()	()	
		実績			①3回 ②100件 ③10回 ④10社 ⑤20回 ⑥策定		
	創業支援による創業支援件数(創業相談件数)	目標	(400件)	(400件)	()	()	
		実績	448件	321件			
	本事業で育成された人材等の就業件数(プログラミングスクールの開催)	目標	(3回)	()	()	()	
		実績	3回				
	達成状況説明	①全6回の講座を2回、全4回の講座を1回開催。 ②131人に対し228件の個別相談を実施。 ③対面形式、オンライン形式、大小85回のイベントを開催。中高生向け出前講座(今年度は球陽高校と美東中学校)を実施。 ④IVS2022NAHAやCoralPitch#5、地方創生VCTopp懇親会「起業家ピッチ」等のイベントの運営、出場支援を行った。 ⑤支援企業に対し地元企業や政策金融公庫等を紹介した。 ⑥企業誘致基本方針を策定した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度
						①15名 ②20名 ③5団体 ④3,500万円	()
①創業スクール卒業生:15名以上 ②創業者数:20名 ③スタートアップ支援団体数:5団体 ④資金調達額:3,500万円/5団体		目標	()	()	()	()	()
		実績	/	/	/	①22名 ②58名 ③13団体 ④750万円	/
創業支援者数		目標	()	(54件)	(54件)	()	()
		実績	/	66件	121件	/	/
就業件数		目標	()	(42件)	()	()	()
		実績	/	14件	/	/	/
進捗状況説明		①22名の卒業生を輩出。そのうち9名が創業。または創業に向けた準備を進めている。 ②個別相談、創業スクールを通して、合計58名の創業者を輩出。 ③スタートアップ伴走支援に注力した結果、目標を大きく超える13団体を支援。 ④VC等とのマッチングを行っているが、目標としている資金調達額には至らなかった。引き続き支援を継続していく。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・創業スクールを3回開催したが、各回とも初回は参加人数が多いが、プレゼン作成がハードルとなり卒業率を押し下げていると考えられる。 ・今年度はスタートアップに集中した創業支援を行っているが、本市の実情としては、スモールビジネスも多く、ニーズもあるため、支援が必要となっている。 ・これまで創業支援を実施しているが、創業後の伴走支援(経営の安定化支援、事業拡大等のための資金調達支援)が次なる課題として挙げられる。 ・資金調達支援は、沖縄市のみならず県や国、金融機関等の取り組みとの連携が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図るため、引き続きスタートアップ起業家支援およびスモールビジネス支援に取り組む必要がある。 ・創業状況の把握や創業後の伴走支援を効果的に行う必要がある。 ・今年度より、ピッチイベント出場支援と金融機関等との面談いただく場を設けることにより資金調達の支援を行ったが、資金供給に至るまでのスキームをナレッジ化する必要がある。 ・既存のスタートアップ関連機関との連携を強化し、資金調達のマッチングをスムーズに行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むと共にスモールビジネス支援を行うことにより、スタートアップ型創業への挑戦する人を増やす。 ・創業状況の把握(創業支援後の後追い調査)や創業後の伴走支援を効果的に行っていく。 ・引き続き、県内金融機関や事業者や県外VC等とのマッチングを行っていく。 ・策定した企業誘致基本方針に基づき、企業誘致の取組みを推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

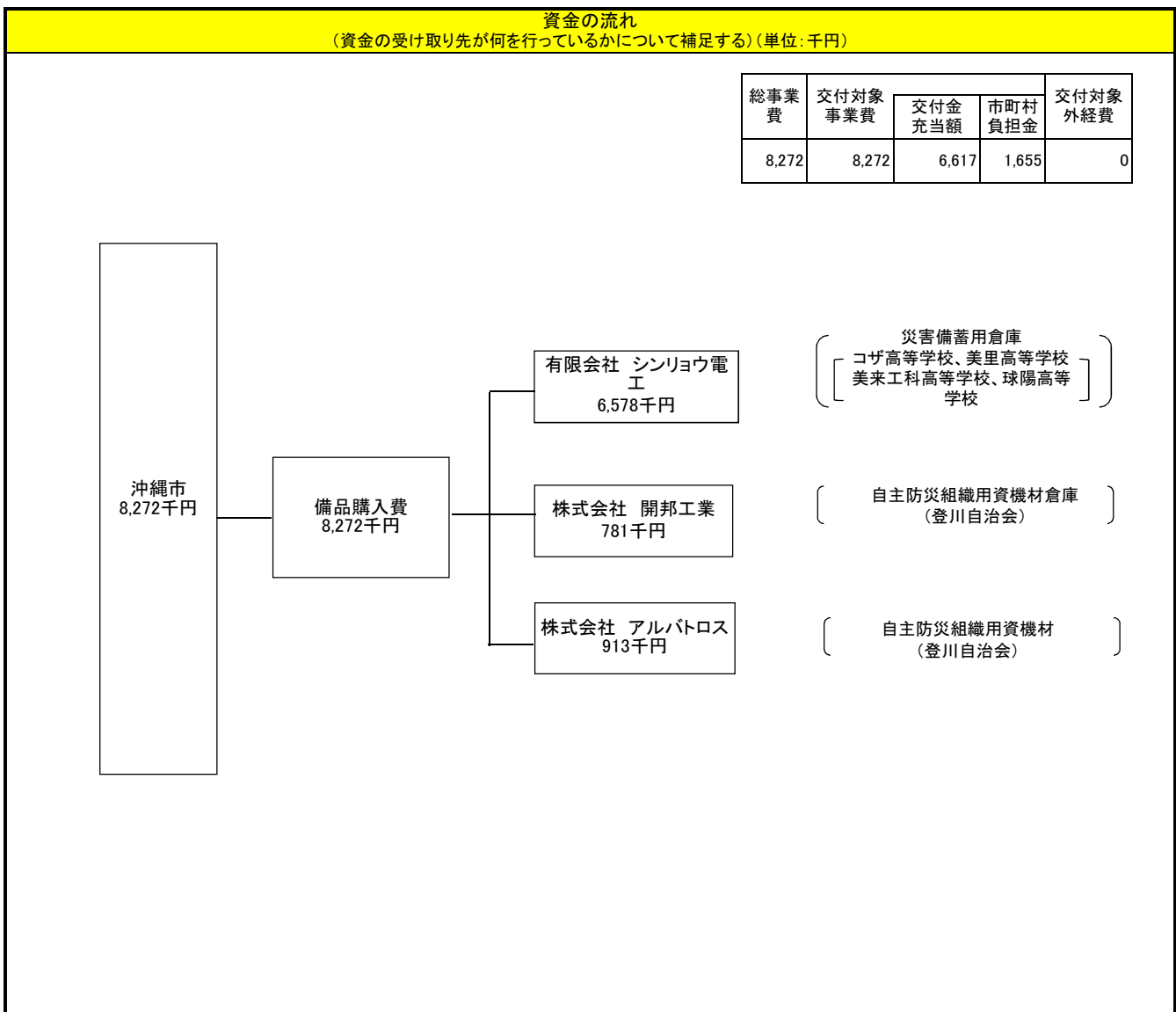
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,905	30,905	24,723	6,182	



資金の流 れ、点検 ・評価 ・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は企画提案公募により選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業計画に沿った適正な規模となっている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①		地域防災対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア	
	担当部課名	総務部 防災課		事業実施 (予定)年度		平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容		災害に備え、地域防災力を強化するため、自主防災組織の結成促進・育成を図る。					Ⅲ-10-(3)
	効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	R1年度		R3年度		R4年度	
		(a)当初予算額	9,948	13,833	127,036	-	18,205
	(b)予算現額	5,765	6,518	122,658	-	10,713	
	(c)増減額(b-a)	▲4,183	▲7,315	▲4,378	-	▲7,492	
	(d)繰越額				117,843		
	A.計(b+d)	5,765	6,518	122,658	117,843	10,713	
	B.執行済額	3,276	5,573	4,048	100,961	8,272	
	うち交付金充当額	2,620	4,458	3,238	80,769	6,617	
	次年度繰越額			117,843			
	執行率(%) (B/A)	56.8%	85.5%	3.3%	85.7%	77.2%	
予算の状況の説明	自主防災組織の資機材・倉庫を整備するためには、新規の自主防災組織設置が要件となるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から自主防災組織設置に係る説明機会が減少し、自主防災組織設置数が当初見込みを下回ったことで資機材等の設置ができなかったことが、主な減額の理由である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	防災組織の結成(1組織)	目標	(5組織)	(2組織)	(1組織)	(1組織)	
		実績	2組織	2組織	1組織	3組織	
	防災組織資機材・倉庫整備(1組織)	目標	(2組織)	(2組織)	(1組織)	(1組織)	
		実績	2組織	2組織	1組織	1組織	
	防災備蓄倉庫の整備(4箇所)	目標	()	(1ヶ所)	(1ヶ所)	(4ヶ所)	
実績			1ヶ所	1ヶ所	4ヶ所		
達成状況説明	・自主防災組織を新たに1組織を結成することができ防災組織資機材と倉庫整備の目標を達成できた。防災備蓄倉庫(4ヶ所)の整備についても目標を達成することが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	目標	()	(80%以上)	(31回)	(32回)	
		実績		100%	10回	18回	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
進捗状況説明	・防災訓練を実施した自主防災組織からは、訓練の効果として、防災資機材取扱い方法や災害時の対応方法等が習得できるとともに、訓練を通じて防災意識が向上した等、訓練を評価する報告を受けている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から防災組織に係る訓練の説明機会が減少、目標の56%しか達成できなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・地域や防災組織によって防災に関する意識が異なり、「防災組織の未設立な自治会等」、「防災組織を設立しているが防災訓練等を未実施の防災組織」へ防災組織等の特徴を踏まえた効果的なアプローチや「自主防災組織の結成」に関する説明の必要がある。</p>	<p>・「防災組織の未設置」「防災訓練の未実施」「継続した防災訓練の実施」等、各防災組織等の特徴を踏まえた効果的なアプローチを継続するとともに、さらに「防災組織の未設置」の地域の自治会長に対し、より積極的に「自主防災組織の結成」に関する説明を実施し組成につなげる。また、「防災訓練の未実施」の防災組織へ市から防災組織へ行う支援策等の説明を行い実施率向上を図る。また、継続した防災訓練を実施している組織へ資機材取扱い説明等を行い、現在の訓練実施状況の維持を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・「防災組織の未設置」の地域及び「防災訓練の未実施」の防災組織については、自らの地域は自らで守る重要性や市から防災組織へ行う支援策等の説明を行い、防災組織の設置促進及び訓練等の実施を促進する。また、継続した防災訓練を実施している防災組織へ資機材取扱い説明等を行い、現在の訓練実施状況を維持できるよう取り組む。</p>		



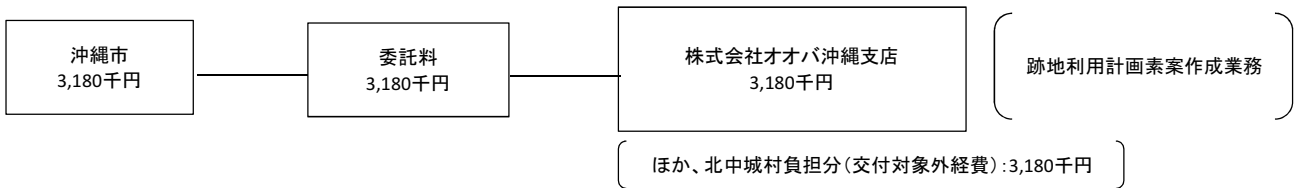
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○複数の業者から事業内容にあった見積もりを確認しており、適正な規模と考える。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(13)-(イ)		
担当部課名	建設部都市整備室都市計画担当	事業実施(予定)年度	令和4~令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地利用の早期着手に向けた取組の推進 Ⅲ-8		
事業内容	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の検討を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,780				
		(b)予算現額	3,181				
		(c)増減額(b-a)	▲3,599				
		(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	3,181					
	B.執行済額	3,180					
	うち交付金充当額	2,544					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初、会計年度任用職員の雇用を予定していたが、雇用できなかったため報酬費2,934千円を減額した。また、入札残が生じたことから委託料666千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	跡地利用計画(素案)の作成	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当地区の土地区画整理事業を進める上で特に課題となっている幹線道路の検討ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R5年度)
	跡地利用計画(素案)の作成	目標	()	(作成)	()	()	()
		実績		作成			
	【参考指標】 跡地利用計画(素案)策定後、地権者や市民等の「肯定的な評価」80%以上	目標	()	()	()	()	肯定的な評価 (80%以上)
		実績					
	進捗状況説明	当地区の土地区画整理事業を進める上で特に課題となっている幹線道路の検討ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R4年度は、関係機関と調整を行い、当地区が抱える課題に対する対応方針を踏まえた跡地利用計画素案の作成を行った。	引き続き、沖縄防衛局や沖縄県の関係部局との意見交換を実施し、当地区の跡地利用計画の熟度を高めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>過年度までの取組により、関係機関との協議体制が確立しつつあり、当地区が抱える未返還道路の取扱いや広域都市計画区域が異なる跡地利用の進め方について、より具体的に検討していく。同時に、将来の事業主体となる地権者の意向を踏まえた検討を行うため、地権者会役員との意見交換やアンケート調査等を実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
6,360	3,180	2,544	636	3,180



資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・北中城村と調整し、本業務の仕様に対応できる要件等を有した事業者を選定しており妥当である。 ・本業務は、指名競争入札方式により事業者を選定しており妥当である。 ・不用額は事業費の5%以内であり適正であると判断する。 ・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	東部海浜地区開発事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設部 東部海浜開発局 計画調整課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	東部海浜開発事業について、市民や県民等に対する事業PRに取り組み、認知度の向上を図る。 また、東部海浜開発地区への企業誘致を図るため、県外企業への事業を周知等図るための企業ヒアリングを実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和11年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,338	21,475	14,462	14,462	55,132
		(b)予算現額	21,302	21,475	0	14,462	95,132
		(c)増減額(b-a)	8,964	0	▲14,462	0	40,000
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	21,302	21,475	0	14,462	95,132
		B.執行済額	19,795	21,220	0	12,790	93,011
		うち交付金充当額	15,835	16,976	0	10,232	74,408
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	92.9%	98.8%	#DIV/0!	88.4%	97.8%
予算の状況の説明	計画した内容については、すべて実施した。 残額の内訳としては、契約差額と県外企業誘致ヒアリング旅費の残となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①県外企業誘致ヒアリング 9回	目標	(6回)	(-)	(6回)	(9回)	
		実績	8回	-	0回	2回	
	②PRイベント実施 3回	目標	(イベント実施 3回)	(-)	(事業PR実施)	(PRイベント実施 3回)	
		実績	イベント実施 3回	-	事業PR実施	PRイベント実施 2回	
	③防災計画策定 1件	目標	()	()	()	(1件)	
		実績				1件	
	④人工ビーチ運営等調査 1件	目標	()	()	()	(1件)	
		実績				1件	
	⑤土地処分検討 1件	目標	()	()	()	(1件)	
		実績				1件	
	⑥事業アドバイザー業務1件	目標	()	()	()	(1件)	
実績					1件		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 東部海浜開発事業「潮乃森」のPRとして、潮乃森ビーチフェスタや県内イベントと連携しての事業PRを行った。 防災計画の策定やビーチ運営等の調査、土地処分の検討、事業アドバイザー業務を実施した。 県外企業ヒアリングについて、当初の予定では9回行う予定であったが、ヒアリング先を優先度の高い企業に絞った事と県外企業よりヒアリングとともに本地区の視察も行いたいと希望があったため、県外でのヒアリング実施が2回となった。 						

R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R11年度)
①公募条件整理に向けたヒアリングを実施9回(36社)	目標	()	(-)	(9回[35社])	(9回[36社])	()
	実績		-	0回	2回[10社]	
②来場者等へのアンケートによる認知度(65%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(-)	(60%以上)	(65%以上)	()
	実績		-	20.8% ※WEBアンケート	57.0%	
③防災計画策定業務1件	目標	()	()	()	(1件)	()
	実績				1件	
④人工エピーチ運営等調査業務1件	目標	()	()	()	(1件)	()
	実績				1件	
⑤土地処分検討業務1件	目標	()	()	()	(1件)	()
	実績				1件	
⑥事業アドバイザー業務1件	目標	()	()	()	(1件)	()
	実績				1件	
【参考指標】 公募事業手法等の策定	目標	()	()	()	()	(1件)
	実績					
進捗状況説明	<p>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは実施できず、アンケートもWEBで実施したため低い認知度となっていたが、令和4年度は、イベント会場でのアンケート実施となったことから、事業の認知度は57.0%(36.2%増)であった。</p> <p>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により対面による企業ヒアリングの実施が困難であったが、令和4年度は、対面での実施を行うことが出来た。また、ヒアリング先を優先度の高い企業に絞った事と県外企業よりヒアリングとともに本地区の視察も行いたい等の希望があったため、県外でのヒアリング企業数は10社となった。</p>					

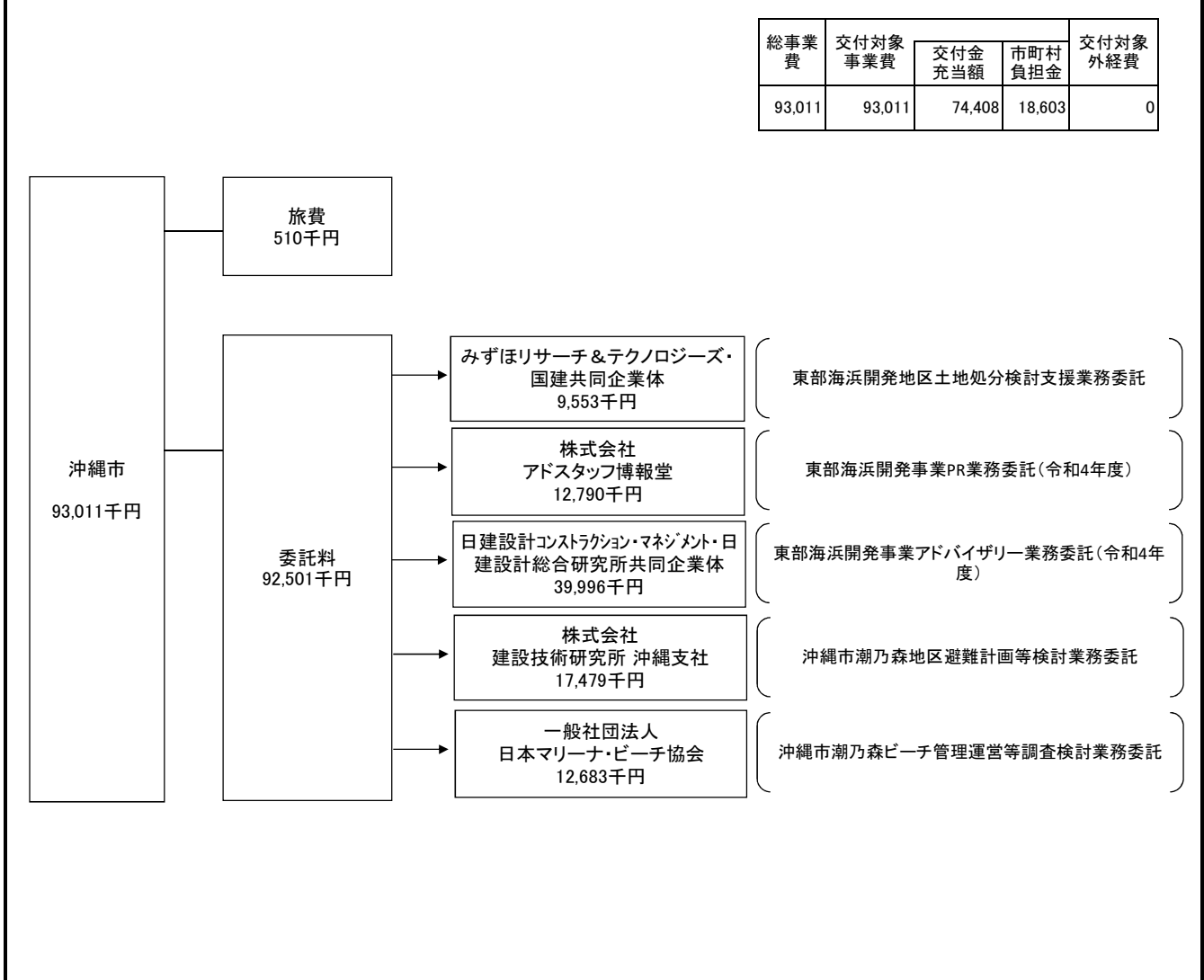
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(公募条件整理に向けたヒアリング実施)</p> <p>本地区に関心を持つ企業と継続した意見交換を行うことが出来ており、公募に向け、民間の動向を把握しているが、公募実施時期等、全体事業の実施時期の情報提供が必要であると企業より意見があった。</p> <p>当初の予定では9回行う予定であったが、ヒアリング先を優先度の高い企業に絞った事と県外企業よりヒアリングとともに本地区の視察も行いたいと希望があったため、県外でのヒアリング実施が2回となった。</p>	<p>(公募条件整理に向けたヒアリング実施)</p> <p>引き続き、本地区に関心を持つ企業と継続的な意見交換を行い、民間事業者等の動向について情報収集を行う必要がある。また、全体事業の実施時期の情報提供が行えるよう調整を行う必要がある。</p> <p>ヒアリング先については、事業の進捗状況を踏まえ、選定し実施を行う。</p>
	<p>(事業の認知度)</p> <p>事業の認知度は57.0%であり、目標値を8.0%下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりのイベント開催となったが、直近でイベントを開催した令和元年度の認知度は52.4%であったことから、認知度は向上しているものと考えられる。</p> <p>これまで事業の認知度は各年5%ずつ向上すると設定していたが、平成29年度から令和元年度の実績からすると年4%の向上となっており、目標値を修正すると52.4%+4%=56.4%となり、実績値の57%は概ね目標通りの認知度であると考えられる。</p>	<p>(事業の認知度)</p> <p>東部海浜開発事業の認知度を高めるため、引き続きPRイベントの実施や地域と連携を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

(公募条件に向けたヒアリング実施)
民間事業者等の動向について情報収集を行う。また、全体事業の実施時期の情報提供が行えるよう関係機関と調整を行う。

(事業の認知度)
市民、県民等に向けた事業PRについては、引き続き人工島のビーチを活用したイベントを実施し、県内の他イベント等と連携した事業PRにも取り組む。

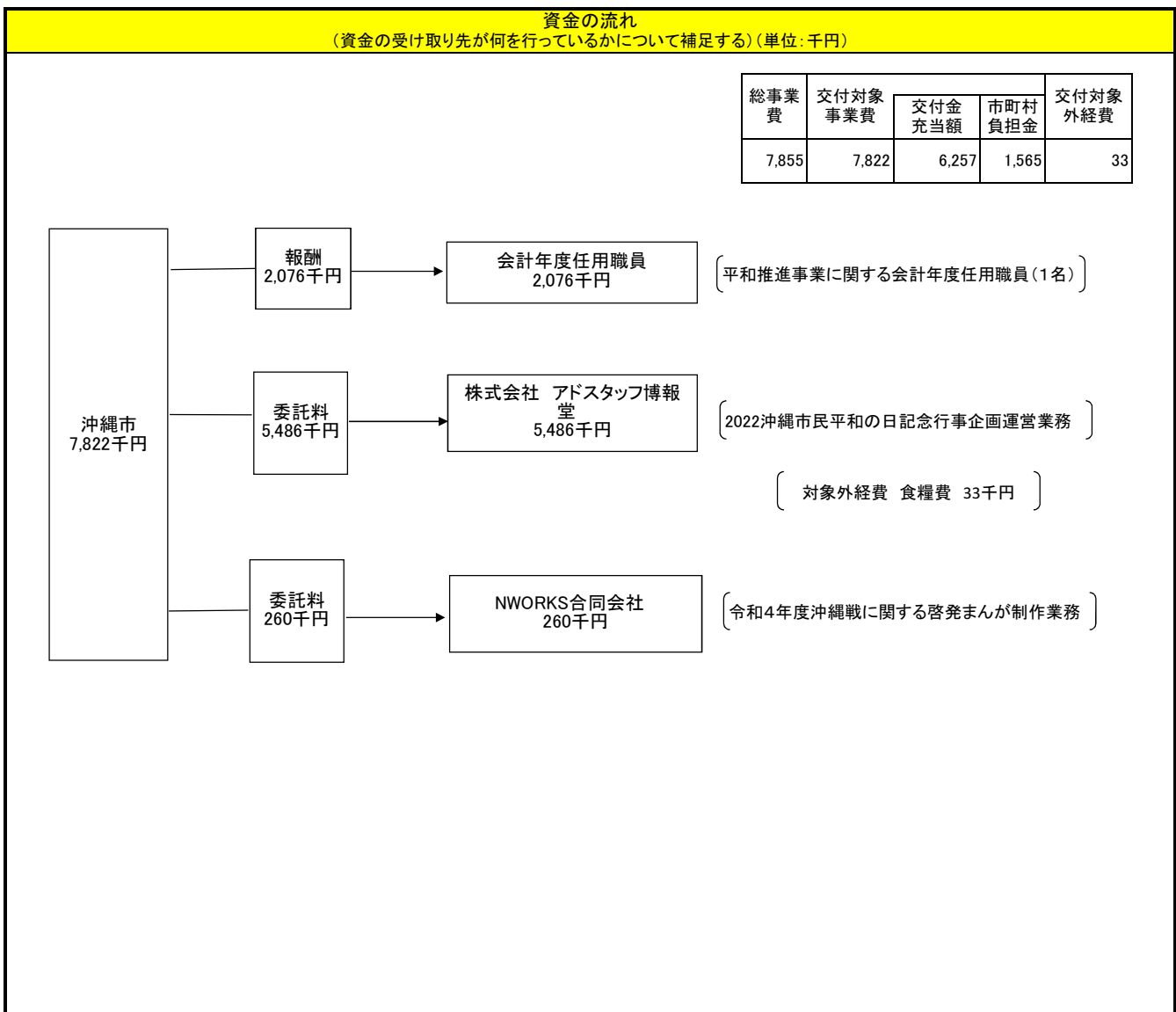
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
点検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、契約差額であり、適正な規模で執行した。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	平和推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-イ	
担当部課名	市民部 平和・男女共同課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承 Ⅲ-7		
事業内容	沖縄戦の体験や教訓を次世代へ継承し、すべての人が等しく平和で豊かな生活が送れるまちづくりを進めるため、イベント開催や平和学習資料の作成を通して、内外に平和行政の取り組みを発信する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	21,137	10,248	10,838	11,197	7,659
		(b)予算現額	21,137	10,268	7,783	11,197	7,659
		(c)増減額(b-a)	0	20	▲ 3,055	0	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		21,137	10,268	7,783	11,197	7,659
	B. 執行済額		19,892	10,268	7,783	9,957	7,822
	うち交付金充当額		15,913	8,214	6,225	7,965	6,257
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.1%	100.0%	100.0%	88.9%	102.1%
予算の状況の説明		事業全体として、計画通り執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	9月7日沖縄市民平和の日記念行事イベント開催	目標	(8 校)	(8 回)	(1 回)	(1 回)	
		実績	8 校	8 回	1 回	1 回	
	デジタル紙芝居製作	目標	()	(1 本)	()	()	
		実績		1 本			
	平和学習資料の作成	目標	()	()	(1 本)	(1 回)	
		実績			1 本	1 回	
	平和大使活用イベント開催	目標	(1 回)	()	()	()	
		実績	1 回				
達成状況説明	9月7日沖縄市民平和の日記念行事では、オンラインによる配信を行った。平和学習資料では、まんがによる啓発紙(8頁)を制作し、ホームページで公開した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	イベント視聴者数500人	目標	()	()	()	(500)	()
		実績				834	
	平和学習資料視聴者数120人(配信4ヶ月後の目標値)	目標	()	()	()	(120)	()
		実績				268	
	進捗状況説明	記念行事の配信では、視聴者数が834PVあり、目標を達成することができた。令和4年度はラジオによる広報を強化したため、多くのラジオリスナーにアプローチできた。また、平和学習資料については、2月10日に公開し、学校へ周知を図り、6月9日時点(4ヶ月後)の視聴者数は268PVであり、目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄戦の次世代への継承を推進するためには、沖縄戦について考える機会の創出を図り、様々な世代へのアプローチを継続して行う必要がある。</p>	<p>・沖縄戦について考える機会の創出を図るためにイベント開催が必要である。 ・意識調査を行い、平和に関する政策の総合的な推進を図っていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・沖縄戦について考える機会の創出を図るために、企画提案型プロポーザル方式により民間事業者を選定、委託を行い、様々な世代へアプローチできるようなイベントを継続して開催する。 ・平和に関する施策の総合的な推進を図ることを目的に第2次沖縄市平和事業推進アクションプランを策定する。</p>		



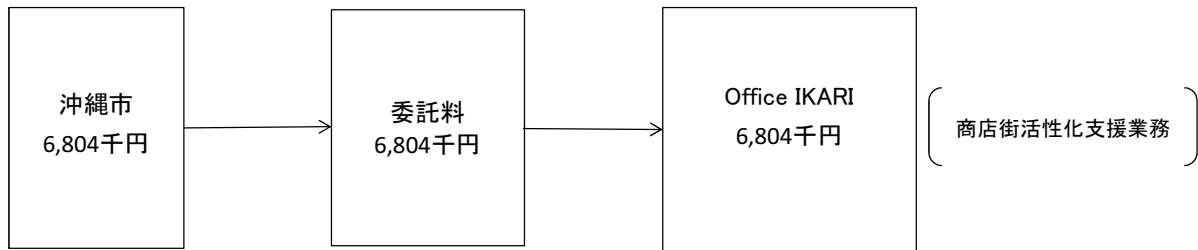
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○受託事業者は公募型見積りあわせや公募型プロポーザル方式選定に基づく随意契約としたため、妥当である。 ○予算規模は、事業計画を踏まえた適切な積算内容となっている。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	商店街等活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-イ		
担当部課名	経済文化部 商工振興課	事業実施(予定)年度	令和元～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上		
事業内容	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額	8,000	15,873	12,152	9,130	
	(b) 予算現額	8,000	16,955	12,152	9,130		
	(c) 増減額(b-a)	0	1,082	0	0		
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	8,000	16,955	12,152	9,130		
	B. 執行済額	7,964	9,347	11,704	6,804		
	うち交付金充当額	6,371	7,477	9,363	5,443		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.6%	55.1%	96.3%	74.5%		
予算の状況の説明	執行残額は概算契約の精算によるものであり、当初計画していた事業内容は適切に実施している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	商店街組織への調査	目標	(9団体以上)	()	()	()	
		実績	46団体				
	イベント実施件数(2件)	目標	()	(2件)	(2件)	(2件)	
実績			15件	42件	12件		
達成状況説明	当初の目標は集合型イベント2件であり、コロナ感染拡大により中止になったイベントもあったが、コロナ禍の対策として少人数で行う分散型で開催したことから、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	営業店舗増加数(1件)	目標	()	(1件)	(1件)	(1件)	()
		実績		0件	0件	0件	
	【参考指標】 ①旧銀天街地区:47店舗 ②その他(全体):2,244店舗	目標	()	()	(①47店舗) (②2,244店舗)	(①47店舗) (②2,244店舗)	()
		実績			①43店舗 ②2,044店舗	①36店舗 ②2,036店舗	
進捗状況説明	新規出店はあったものの、閉鎖店舗が上回り結果的には店舗増加とはならなかった。また、新規出店希望者からの問い合わせもあるが、出店には至らないケースも多い。全体の営業店舗数については、2,036店舗となっており、目標達成に至らなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	閉鎖店舗はあるものの新規出店希望者が出店できる賃貸可能な物件(空き店舗)が少ない。 また、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、既存店舗の経営が厳しい状況となっていた。	閉鎖店舗を、新規出店者が出店できる賃貸可能物件(空き店舗)として増やしていくための取り組みが必要である。 また、既存店舗の事業継続のための支援が必要である。
今後の取り組み方針		
出店可能な賃貸可能物件の増加に向け、地権者会や通り会を対象に勉強会等を行い、機運醸成に取り組む。 また、事業者継続に向け、既存店舗への活用可能な補助金等の情報提供や経営に関する勉強会等を開催する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

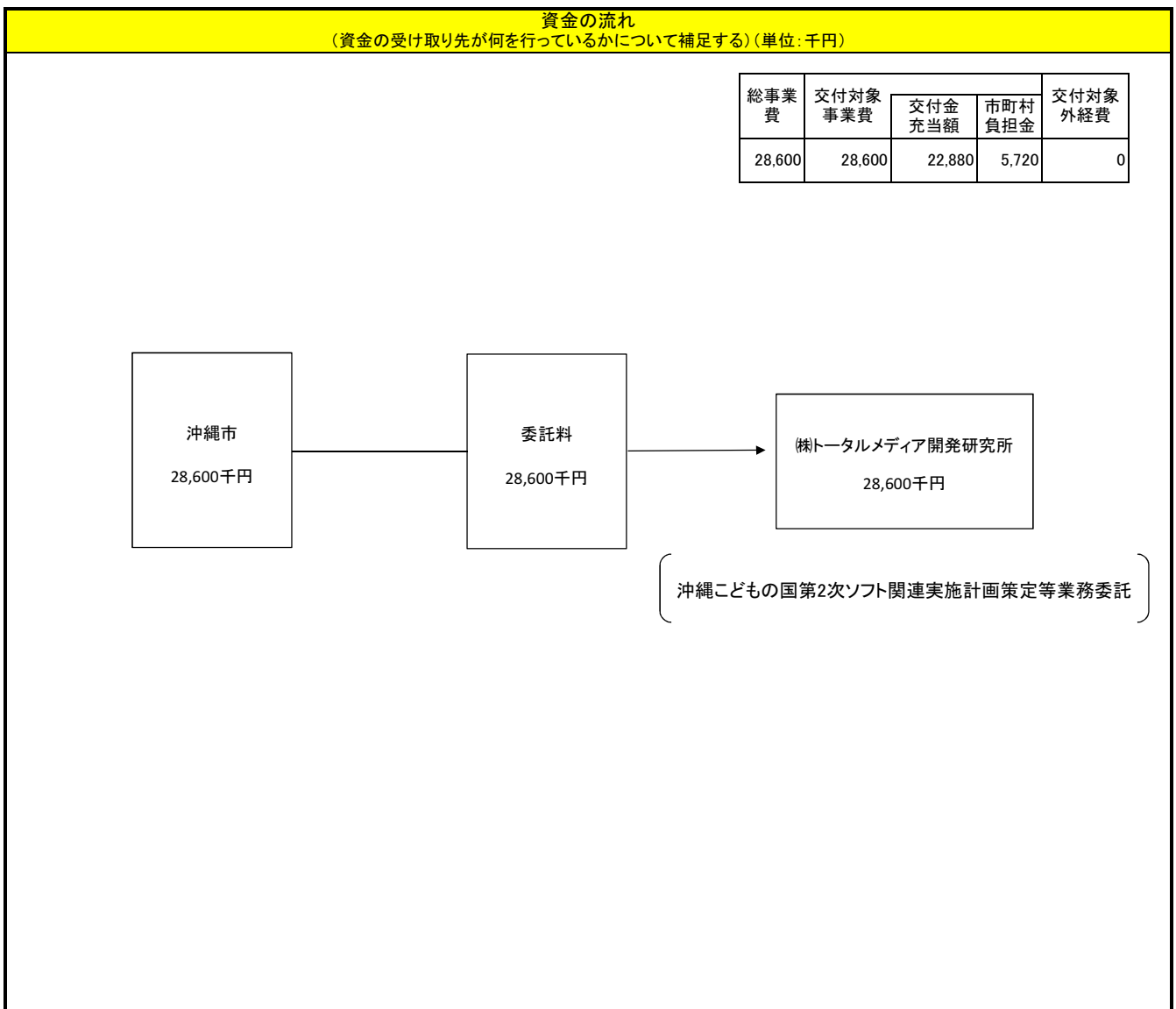
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,804	6,804	5,443	1,361	0



資金の 使途の 流れ、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できないため、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、比較見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要性について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	沖縄こどもの国推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度 平成30~令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客に向け、各種ソフト施策を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	51,220	50,442	18,150	14,432	30,000
	(b)予算現額	51,220	50,442	18,150	14,432	30,000	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額	0		0	0	0	
	A.計(b+d)	51,220	50,442	18,150	14,432	30,000	
	B.執行済額	51,084	50,413	18,112	14,355	28,600	
	うち交付金充当額	40,867	40,330	14,489	11,484	22,880	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	99.7%	99.9%	99.8%	99.5%	95.3%	
予算の状況の説明	計画どおりに事業を実施し、適正に予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	沖縄こどもの国商品開発等実施支援の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
達成状況説明	沖縄こどもの国の来園者満足度の更なる向上及び安定運営促進を目的に、夜間常設開園及び来園者サービスの向上に向けた課題整理や、運営検討をおこない、第2次ソフト関連計画を取りまとめた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	【参考指標】入園者数	目標	()	(60万人)	(65万人)	(70万人)	(75万人)
		実績		33万人	36万人	53万人	
進捗状況説明	・沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務を完了し、目標を達成した。 ・令和4年度目標入園者を70万人に設定し事業を実施していたが、コロナ禍及び沖縄県医療非常事態宣言等の影響もあり、目標値の約76%の達成状況となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本業務終了後には、夜間開園に向けた実証実験をおこない、施設の更なる充実に向けた各種取り組みを進めていく。</p>	<p>・コロナ禍収束後の運営を見据え、それに合わせた戦略や環境整備を併せて検討し、更なる充実を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和5年度以降は、第2次ソフト計画に基づき各種ソフト事業を展開していく。</p>		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルによる提案を受けて契約者選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。</p> <p>○費目・用途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	